

庭園間交流連携促進計画

むさしの・ガーデン紀行

東京の真ん中にある -水と緑と歴史の回廊-



●野川遊歩道

2022(令和2)年7月

2022(令和4)年10月 構成庭園追加

むさしの・ガーデン紀行連絡協議会

-目次-

| | | |
|--------|----------------------|----|
| 様式 1-1 | 表紙 | 1 |
| 様式 1-2 | 取組の将来像（ビジョン） | 4 |
| 様式 1-3 | 位置図 | 6 |
| 様式 1-4 | 計画のテーマ | 7 |
| 様式 1-5 | 構成庭園一覧表 | |
| | ① 都立武蔵国分寺公園 | 11 |
| | ② 都立殿ヶ谷戸庭園 | 12 |
| | ③ 滄浪泉園 | 13 |
| | ④ 小金井市立はけの森美術館・美術の森 | 14 |
| | ⑤ 都立浅間山公園 | 16 |
| | ⑥ 都立武蔵野公園 | 17 |
| | ⑦ 都立野川公園・自然観察園 | 18 |
| | ⑧ 都立武蔵野の森公園 | 20 |
| | ⑨ 三鷹市大沢の里水車経営農家・古民家 | 21 |
| | ⑩ 都立神代植物公園 | 23 |
| | ⑪ 深大寺 | 25 |
| | ⑫ 調布市野草園（深大寺自然広場） | 27 |
| | ⑬ 調布市武者小路実篤記念館・実篤公園 | 28 |
| | ⑭ 三鷹市山本有三記念館 | 29 |
| | ⑮ 都立井の頭恩賜公園 | 30 |
| | ⑯ 井の頭自然文化園 | 31 |
| | ⑰ 都立玉川上水緑道（公園） | 33 |
| | ⑱ 浴恩館公園（小金井市文化財センター） | 34 |
| | ⑲ 都立小金井公園 | 35 |
| | ⑳ 江戸東京たてもの園 | 36 |
| | ㉑ 国分寺市立歴史公園 | 37 |
| | ㉒ 都立多磨霊園 | 39 |
| 様式 1-6 | その他計画の実施にあたって必要な事項 | 41 |
| 様式 1-7 | 実施する事業と実施体制 | 42 |
| 様式 1-8 | 具体的な事業一覧表 | 47 |
| 様式 2 | 庭園間交流連携促進計画の登録申請について | 54 |

取組の将来像 (ビジョン)

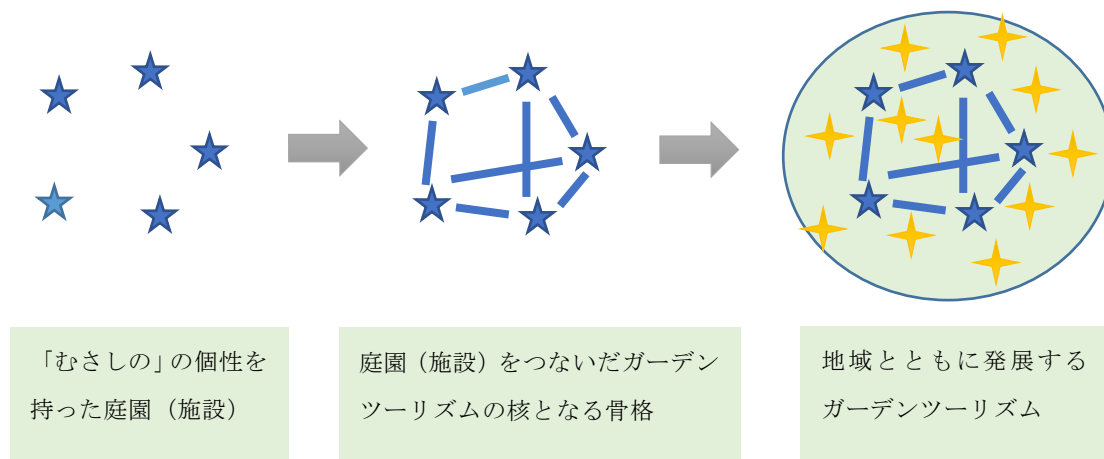
東京の真ん中にある「水と緑と歴史の回廊」
 地域全体を「ひとつの大きなガーデン」として楽しめる場所にしたい

都内最大規模の植物公園や桜の名所の広大な公園、国分寺崖線の地形を利用した湧水の流れる庭園など大都市東京の中にありながら緑が広がる場所「むさしの」。また、玉川上水や井の頭池、野川、さらには多摩川と水辺の景色も豊かな地でもある「むさしの」。そこには多様な植生があり、武蔵野の面影を残す雑木林や日本古来の花々にそこかしこで出逢うことができる。さらにこの地の歴史や文化は、旧石器、縄文に始まり、古代の武蔵国、中世、近代と重層的な構造を持つ稀有の特色を持っている。明治初期の文豪、国木田独歩は武蔵野の風景を「落葉林の美」と表現し、人と自然が紡ぎだした懐かしくも美しい景観と提示した。時を経た今、人々の暮らしの進化により景観は大きく様変わりしているものの、この地域特有の地形や歴史的な背景により「武蔵野」の面影に出逢う場所がまだまだ残されている。それは国分寺崖線や玉川上水などで形成された遊歩道による緑のベルトであり、また、ハケと呼ばれる湧水が流れる場所では心が癒される。



東京とは思えないほどの緑が存在する一方、この地域は、電車で都心部から 20～30 分で気軽に訪れることもできる場所である。東京の都心部やベイエリアとは時間の流れ、街の雰囲気と異なるこの地域は「東京のオアシスの空間」とも言えるのだ。

「むさしのガーデン紀行」ではオーバーツーリズムになりがちな大都市 TOKYO の観光において、訪問者がゆっくりとそれぞれの目線で観光を楽しむことができるツーリズムをめざしていく。まずは、これまで約 8 年間、「森の地図スタンプラリー」で築いてきた民学産公協働の広域回遊ネットワークを基盤に、ガーデンツーリズムを合言葉に、「むさしの」の面影や個性を持った個々の庭園（施設）を結び付ける基本ラインを作る。そして、これを動線とした周辺の商業施設、企業、観光施設といった様々な地域の主体も関わりたくなるようなしくみづくりを行い、地域経済のメリットの創出を図ることで、ツーリズム自体の付加価値をさらに向上させていく。まさに個々の施設という点から線へそして面へと成長するツーリズムである。「むさしの」の古きをたずねつつ、新しきを知る。地域全体を「ひとつの大きなガーデン」としてとらえ、この地域ならではのサステナブルな観光活動、グリーンエコノミー、ニューツーリズムを実現し、地域とともに発展するガーデンツーリズムによる新たなまちづくりをめざしていく。



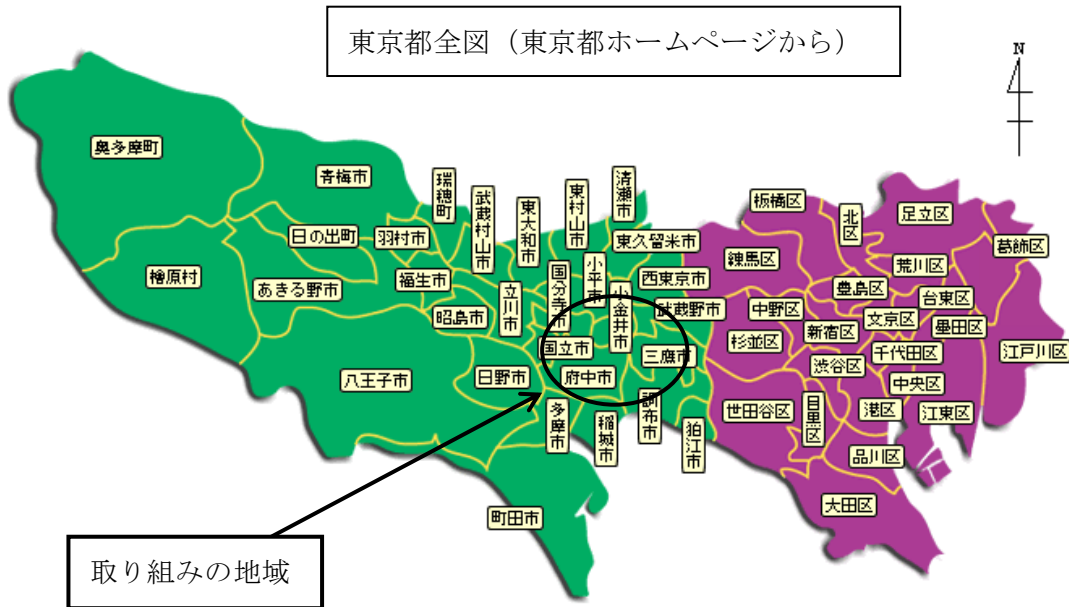
【むさしの・ガーデン紀行のビジョン】

東京の真ん中にある「水と緑と歴史の回廊」

地域全体を「ひとつの大きなガーデン」として楽しめる場所にしたい

- 東京の真ん中にある水と緑と歴史の回廊「むさしの」を「東京のオアシスの空間」として認知を広げ、より多くの人々に親んでもらう。
- こころとカラダの健康づくりに資する気軽な旅、そぞろ歩きを推奨し、自然や歴史、文化、住民とのふれあいを楽しむ観光モデルを創出する。
- 森の地図スタンプラリーで築いてきた民学産公協働の地域連携ネットワークを深化させ、地域とともに発展するガーデンツーリズムをめざす。
- マスツーリズムとは一線を画するニューツーリズムにふさわしい諸活動を磨き上げ、発展的、継続的で強固な事業実施体制をつくりあげる。

●東京都のほぼ真ん中のエリア



●構成庭園の位置図 (新宿や渋谷から電車で約 20 分)



計画のテーマ

武蔵野台地の風土がつくった景観、自然、文化をさがしに

～「むさしの」の古きをたずねて新しきを知る～

このツーリズム計画は、むさしの※エリアの悠久の時間の流れの中で繰り広げられてきた地学的(武蔵野台地、国分寺崖線、湧水…)、生物的(武蔵野の草原、雑木林、在来種…)、文化的(縄文文化、古代武蔵国、玉川上水、雑穀食、芸術…)環境の相互作用が生み出した価値(魅力)をテーマとする。そして、この「むさしの」を巡る新しい旅のスタイルを提示することで、地域の今の姿や新たな魅力の発見につなげ、当該エリアの賑わいと発展を創出することを目的とする。

※「むさしの」の範囲：「武蔵野」の範囲はいろいろな捉え方があるため、本計画のエリアは混同を避けるため「むさしの」と呼ぶことにする。そしてその範囲を、東京都のほぼ真ん中にある半径約5km程度の地域(国分寺崖線と玉川上水で繋がる帯状のエリア)とした。面積的には、京都の市街地とほぼ同じぐらいで、人が一日の時間の中で散策が可能な範囲であるが、地域を厳密に特定するものではない。

●「むさしの」の自然や地形

先史時代の古多摩川が武蔵野台地を削って生まれた河岸段丘の国分寺崖線(通称ハケ)と野川。そして先人がつくった玉川上水を始めとする様々な用水路が遊歩道にかたちを変え、今もこのエリアに豊かな緑を残してくれている。国分寺崖線は、高低差が10～20mぐらいの崖で、崖上(武蔵野台地の南端)からは富士山や丹沢、秩父山系の山並みを見ることができる。崖線のあちこちの斜面から湧水が出て近くを流れる野川にそそいでいる。一方、玉川上水は、江戸時代、人口が急増した市中の飲料水や武蔵野台地の開墾のために作られた水路で、多摩川の羽村取水堰から四谷の大木戸まで、ほぼ武蔵野台地の分水嶺の上を通っている。玉川上水から派生した大小様々な用水も、その役割を終えた今は遊歩道や公園などに姿を変え、市民の憩いの場となっている。

●「むさしの」の歴史・文化

水に乏しい武蔵野台地のなかでも国分寺崖線(ハケ)からの湧水に恵まれたこの地域には、大昔の旧石器や縄文時代から多くの人々が暮らしていた。また、古代には広大な「武蔵国」の中心地となり、国府が府中に、国分寺や国分尼寺が国分寺崖線の近くに建てられた(現在の国分寺市)。明治以降もこのエリアは、水に恵まれ眺望に優れた地として経済人や政治家、文人に人気があり別荘などが多く建てられている。大岡昇平の「武蔵野夫人」はこのハケの地を舞台にした小説として有名である。また、玉川上水や井の頭池の周辺は、太宰治、山本有三、武者小路実篤など多くの文人が暮らした地でもあり、柳田国男や宮本常一といった日本を代表する民俗学者もこの地の散策を愉しみとしていた。そして何よりもこの地、広くは武蔵野の概念を大きく変えたのが国木田独歩である。

●「むさしの」の魅力

国木田独歩は「武蔵野に散歩する人は、道に迷うことを苦にしてはならない。どの路でも足の向くほうにゆけばかならずそこに見るべく、聞くべく、感ずべき獲物がある。武蔵野の美はただその縦横に通ずる数千条の路を当てもなく歩くことによって初めて獲られる。」と明治時代の初期にその著「武蔵野」に書いているが、今でもこの言葉は、「むさしの」を周遊する楽しみを言い当てている。独歩が歩いた照葉樹の林や田園の多くは住宅地や商業地などに姿を変えているが、この地域のそこかしこで屋敷林や畑に遭遇し、国分寺崖線や井の頭、野川などの広大な公園では雑木林に迷い込むことさえできる。そして、独歩の時代には存在していなかった人工物、地域に点在する庭園、公園、美術館、カフェ、興味をそそられる住宅まで、予期せぬ出逢いに大きな散策の喜びを獲ることができるのだ。

東京の真ん中にある「水と緑と歴史の回廊」を楽しむための・・・

視点① 大都市東京の身近にあるオアシス的な空間

「むさしの」は大都市近郊にもかかわらず、豊かな自然が人々の暮らしのなかに残されており、訪問者は地域のそこかしこで「むさしの」の奥深い楽しみを体験することが出来る。武蔵野の雑木林の面影が残る公園であったり、国分寺崖線の地形を活かした庭園であったり、数万本のバラを一堂にみることが出来る植物園であったり、由緒ある寺社であったりするのだが、何よりもこの地域ならではの楽しみは地域を広く散策することにある。目的地までの移動の時間そのものが観光であり、リクリエーションということが出来る。東京にいながらにして、木々のざわめきや小鳥の囀りを聞きながら、道ばたの花木に癒されてそぞろ歩きを楽しむのは至福の時間である。

このエリアには、大規模な公園（半径5キロ圏内に都立公園が12）が多数存在するが、遊歩道などを含めた地域そのものがひとつの大きなガーデンと言えるような場所を形成している。この緑あふれる地に存在する数々の魅力的なスポットの連携を強化することで、来訪者が個々の施設のみならず、移動の時間に目にするものも楽しみながら周遊をエンジョイできる空間の創出をめざしたい。アーバンツーリズムとルーラルツーリズムがいっしょに楽しめるような場所を演出していきたい。



●井の頭池



●野川のサギの仲間



●野川公園・湧き水広場

視点② 自然や環境を大事にしながらか観光を楽しむモデルエリア

この地には、日本古来の野草や武蔵野の自然を大切に守り育てている人々が多数活動している。ムサシノキスゲの唯一の自生地であり、絶滅危惧種と言われる花々が多数存在する都立浅間山公園。江戸園芸、復元した武蔵野の草原や多様な東京の植生を一堂にみることが出来る都立神代植物公園・植物多様性センター。深大寺の谷戸にひっそりと存在しながらムラサキなどの貴重な野草の保護・育成をおこなっている調布市野草園。100人にも及ぶボランティアが活動する都立野川公園・自然観察園などである。むさしの・ガーデン紀行の取組みでは、イベントやセミナー等を通じて自然環境の大切さや観光マナーの啓蒙を図っていききたい。大人も子どもも自然や環境の大切さを肌で感じながら観光を楽しむモデルエリアになることをめざしたい。



●玉川上水緑道



●調布市野草園



●ムサシノキスゲ

視点③ 武蔵野台地の地形や歴史、文化を実体験として学べる場所

この地域には旧石器から縄文までの集落遺跡が多数存在している。2 万年以上前から人間の暮らしが営まれてきた日本でも有数の地であり、その遺物は I C U の湯浅八郎記念館や各市の博物館などに展示されている。また、江戸時代には神田上水、玉川上水により、江戸市中に水を供給するほか玉川上水とその分水により新田開発がさかんに行われ、薪や野菜などの燃料、食料の供給地として江戸の発展をささえてきた。また近現代では、このエリアに中島飛行機工場や陸軍が利用した調布飛行場など軍事施設が多数つくられた。その跡地が今、その姿を変え広大な都立公園や大学などに活用され、緑あふれる空間を形成している。このような今の東京の成り立ちの歴史を、武蔵野台地や国分寺崖線の地形を実体験しながら学べる野外ミュージアム的な役割を担っていきたい。



●自然観察会（浅間山）



●玉川上水



●大沢の里の稲刈り風景

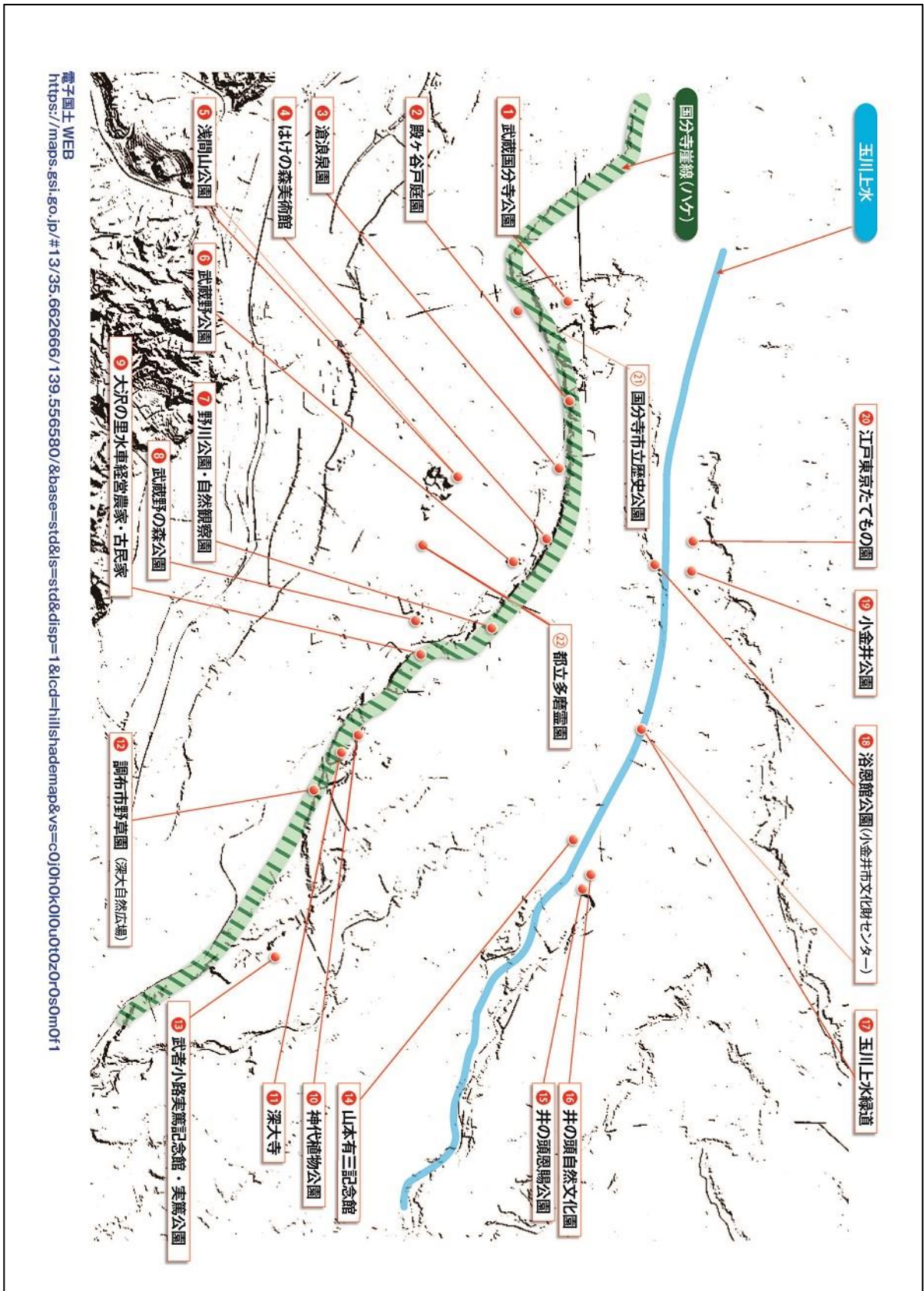
視点④「むさしの」の食文化を取り入れたモデル周遊コースの創出

武蔵野台地は水が乏しいため水田に適さず、人々は主にヒエ・アワ・小麦などの穀類を耕作してきた。地域では、正月や盆の御馳走に畑で収穫した地粉で手打うどんを打つ習慣があった。「糧（かて）」と呼ばれる具（主に茹でた野菜）が付くスタイルやうどん汁に豚肉を入れたものが「武蔵野うどん」と呼ばれ、この地域特有の食文化となっている。また江戸時代の深大寺では、農民が米の代わりに納めたそば粉でソバを打ち湧水にさらした蕎麦が美味とされ、今では参道に多くの蕎麦店が並び、人気を呼んでいる。一方で、吉祥寺をはじめこのエリアには個性的なカフェが多く、散策の途中で立ち寄り、美味しい珈琲やスイーツを味わうのも散策のひとつの楽しみである。このような地域に点在する飲食店等との連携をいっそう高め、食の要素も取り込んだ魅力的な回遊コースを提示していきたい。



<地域の地形(起伏)図>

武蔵野台地南端の国分寺崖線（ハケ）と玉川上水が緑のベルトを形成している。



構成庭園一覧表

| 構成庭園の名称 | むさしこくぶんじこうえん ①都立武蔵国分寺公園 | 構成庭園の所在地 | 国分寺市 |
|--------------|--|----------|--|
| 1 構成庭園の概要 | <p>【開園面積】114,608.43 m² 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】西武・武蔵野パートナーズ(民間)</p> <p>【概要】 武蔵国分寺公園は水と緑の豊かな憩いの場です。公園北側は外周500mの円形広場や時折カワセミが飛来する水辺があり、開放感のある空間が特徴です。南側は木々に囲まれたこもれび広場や、国分寺崖線につながる野鳥の森など、武蔵野の自然が感じられます。季節を彩る花々は来園者の心を和ませてくれます。周辺には史跡「武蔵国分寺跡」や「お鷹の道」、「真姿の池」などの名所、旧跡があり、散策に人気のスポットです。</p> <p>【沿革】 旧国鉄の「中央鉄道学園」などの跡地を整備してつくられました。公園を含む周辺地域は、埋蔵文化財包蔵地に指定されており、先土器時代から人々の営みがあったことが知られています。</p> <p>【イベント等】 1. 「あったらいいな」をみんなで作る公園プロジェクト 公園をもっと魅力的な場所にするために、公園に「あったらいいな」とワクワクすることを市民の方々と考え・つくり・楽しむためのプロジェクトです。 2. ディスカバリーツアー 国分寺市教育委員会ふるさと文化財課と連携で、公園や史跡をめぐりながら歴史・文化・自然について学ぶイベントを実施しています。 3. ちょいボラ 自然にちょっぴり触れてみたい、ボランティア活動をしてみたいという方が気軽に参加できる、ボランティア体験イベントです。</p> | |  |
| 計画のテーマでの位置づけ | <p>国分寺崖線(はげ)上にある都立公園。周辺には国分寺や国分尼寺跡、東山道武蔵路(大化の改新後、都と地方の国府を結ぶために作られた道路)など歴史を実感できる史跡が多い。国分寺崖線下にあるお鷹の道・真姿の池湧水群は環境省選定の湧水百選に選ばれていて、湧水地近くには「武蔵国分寺跡資料館」もある。「むさしの・ガーデン紀行」では、古代の歴史を地域の自然や地形とともに学べるスポット。</p> | | |



「あったらいいな」イベント



ディスカバリーツアー



ちょいボラ


構成庭園一覧表

| 構成庭園 の名称 | とのがやとていえん ずいぎえん ②都立殿ヶ谷戸庭園(随豆園) | 構成庭園の所在地 | 東京都国分寺市南町2-16 |
|------------------|--|----------|---------------|
| 2 構成庭園 の概要 | <p>【開園面積】17,694㎡</p> <p>【入園料金】65歳以下 150円 65歳以上 70円</p> <p>【公開時期】通年（12月29日～1月1日を除く）</p> <p>【施設管理者】公益財団法人 東京都公園協会（東京都指定管理者）</p> <p>【概要】</p> <p>国分寺崖線とそこから浸出する湧水、武蔵野の雑木林を生かした回遊式林泉庭園。かつては岩崎家が所有した国指定名勝の別荘庭園です。武蔵野の自生種アカマツに加え、100種以上の山野草が見られ、秋には見事な紅葉が楽しめます。園内の次郎弁天池は水量豊かな湧き水の窪地であり、崖線から湧き出る清水を集め、野川の水源の一部となっています。山野草や盆栽展、お茶の入れ方や苔玉作りの教室、伝統技能見学会など年間を通して様々なイベントが行われています。</p> | | |
| | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="488 907 823 1406">  <p style="text-align: center;">紅葉亭</p> </div> <div data-bbox="959 880 1414 1417">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="399 1489 978 1731">  <p style="text-align: center;">崖上の芝生地から岩崎家別邸をのぞむ</p> </div> <div data-bbox="1034 1460 1398 1731">  <p style="text-align: center;">湧水の流れ</p> </div> </div> | | |
| 計画のテーマでの位置づけ | <p>J R中央線・国分寺駅のすぐ近くでありながら都会の喧騒を忘れさせてくれる貴重なスポット。崖線上にある数寄屋造りの茶室、紅葉亭から見下ろすイロハモミジが絶景。国分寺崖線の谷戸に位置する地形で園内の次郎弁天池に湧水がそそいでいる（東京の名湧水57選）。「むさしの・ガーデン紀行」においても、庭園を觀賞しながら崖線の地形を実踏できる場所として価値が非常に高い。</p> | | |

構成庭園一覧表

| 構成庭園 の名称 | <small>そうろうせんえん</small> ③滄浪泉園 | 構成庭園の 所在地 | 小金井市貫井南町三丁目2番28号 |
|------------------------------|--|--------------|------------------|
| <p>3</p> <p>構成庭園 の概要</p> | <p>【開園面積】12,479.99㎡ 【入園料金】大人(15歳以上)100円 子ども(6歳以上)、60歳以上、障がい者とその付添人50円 【開園時間】午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで) 【休園日】毎週火曜日及び年末年始(12月28日～1月4日) 【施設管理者】小金井市 【概要】 滄浪泉園は、武蔵野の特徴的な地形である「はげ」とその湧水を巧みに取り入れて整備された緑地である。その名の由来は、犬養毅元首相によって名付けられたもので、「手や足を洗い、口をそそぎ、俗塵に汚れた心を洗い清める、清々と豊かな水の湧き出る泉のある庭」との深い意味を持っている。園内は今でも武蔵野の面影を十分にとどめ、うっそうと茂る樹林内では、野鳥の鳴声が1年中絶えることなく、また、今なおこんこんと湧く清水をたたえた池にはカモやカワセミも飛来する。</p>    | | |
| <p>計画のテーマでの 位置づけ</p> | <p>国分寺崖線(はげ)の地形を活かした庭園で武蔵野の面影を感じることができる。アカマツ、スギ、モミジなどが茂る樹林地は深山の趣そのまま、コゲラ、アオゲラ、メジロ、ウグイスなど野鳥の鳴声もたえないスポット。また、園内にある水琴窟では、都会の喧騒をはなれ、しばし幽玄な音色を楽しめる。</p> | | |

構成庭園一覧表

| 構成庭園 の名称 | はけのもりびじゅつかん ④小金井市立はけの森美術館・ びじゅつのもりりよくち 美術の森緑地 | 構成庭園の 所在地 | 東京都小金井市中町1-11-3 |
|------------------|---|--------------|-----------------|
| 4 構成庭園 の概要 | <p>【開園面積】2,419 (ha/m²) 【施設管理者】小金井市 【入園料金】美術の森緑地：無料 はけの森美術館：所蔵作品展一般 200 円、小中学生 100 円、企画展はその都度設定、未就学児無料 【公開時期】美術の森緑地：年末年始を除く通年 はけの森美術館：展覧会開催時</p> | | |
| | <p>【概要】美術の森緑地一帯は、洋画家中村研一が、終戦後移り住み、晩年まで過ごした土地で、小金井市立はけの森美術館のほか、中村夫妻の住んでいた旧主屋（現美術館附属喫茶棟）と、研一が建築家佐藤秀三と二人で相談しながら建てたと伝えられている茶室「花侵庵」が、美術館庭園である「美術の森緑地」の中に建っています。主屋と茶室は、平成 31 年 3 月に国の登録有形文化財（建造物）となりました。</p> <p>「美術の森緑地」の中心には、東京都の名湧水 57 選に選ばれている湧水の池があり、その水は水路を通過して敷地外へ流れ出しています。流れ沿いは散策路「はけの小路」になっており、スタジオジブリの映画「借り暮らしのアリエッティ」のラストシーンの作画イメージに使われています。また、古くは大岡昇平の小説「武蔵野夫人」の舞台となったと伝えられており、はけ（国分寺崖線）の自然と地形を今に残す貴重な緑地です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="437 1227 957 1568">  <p data-bbox="507 1585 871 1617">美術館の入り口（はけの道から）</p> </div> <div data-bbox="1085 564 1447 1146">  </div> <div data-bbox="1120 1200 1359 1568">  <p data-bbox="1177 1585 1305 1617">はけの小路</p> </div> </div> <p>【沿革】小金井市立はけの森美術館は、研一没後、夫人の中村富子氏が建設した個人美術館が前身（平成 16 年に市に寄贈、平成 18 年より現小金井市立はけの森美術館）であったことから、大変小規模な美術館ですが、中村研一の油彩画、水彩画、素描、陶器などと、研一とゆかりのある作家の作品 800 点余りを所蔵しており、研一の作品を中心にした所蔵作品展のほか、個性的な企画展などの展覧会を年 3~4 回行っています。また、展覧会にちなんだ講演会、ワークショップや、展示室内で絵画と音楽を同時に楽しむギャラリーコンサートなども行っています。</p> <p>【見所】国登録有形文化財（建造物）である旧中村研一邸主屋は、現在美術館附属喫茶棟「musashino はけの森カフェ」として活用しており、美食家としても有名であった中村研一の好んだ、往時の中村家の家庭料理をイメージしたメニューを提供しています。美術館観覧前後に、一帯のロケーションを楽しみながらゆったりとした時間を過ごしてほしいと願い、都会の隠れ家、大人のオアシスを目指しています。</p> | | |



美術の森から旧中村研一邸を望む



湧水の池

計画のテーマでの位置づけ

国分寺崖線（はげ）の自然と地形を今に残す貴重な緑地を散策できる。緑地にある池は東京都の名湧水57選に選ばれている。また、美術館での作品鑑賞や旧中村研一邸母屋（国登録有形文化財）を利用したカフェでゆったりとしたくつろぎの時間を過ごすことができる。

構成庭園一覧表

| 構成庭園の名称 | せんげんやまこうえん ⑤都立浅間山公園 | 構成庭園の所在地 | 府中市浅間町四丁目、若松町五丁目 |
|--------------|---|----------|------------------|
| 5 構成庭園の概要 | <p>【開園面積】87,694.48㎡ 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】西武・武蔵野パートナーズ（民間） 【概要】 浅間山は、堂山（標高約80m）・中山・前山の3つの頂きを持っています。武蔵野の面影が残る雑木林で覆われ、ムサシノキスゲやヤマユリ等の野草や季節に応じた野鳥が見られます。この貴重な自然景観は地元の市民団体、学校団体、府中市、東京都の協力によって残され保全されています。 【沿革】 この山は、多摩の台地が古多摩川や他の河川で削られ残った小高い山です。昔は近隣農家の農用林として利用されていましたが、戦時中は一時陸軍に接収されました。戦後、宅地計画もありましたが、浅間山の自然を守りたいという多くの方の働きかけにより、都立公園として残されました。</p>  <p>【イベント等】 - 自然に親しむ様々なイベント- 毎年、ムサシノキスゲの開花時期に合わせ、浅間山を考える会と西武・武蔵野パートナーズの共催による「キスゲフェスティバル」を開催しています。その他、「森キッズクラフトDAY」や「冬鳥の観察会」などいろいろなイベントが行われ、地域の方々や自然の愛好家などたくさんの方々が訪れます。</p>  <p>キスゲフェスティバルの会場の様子</p>  <p>キンラン</p>  <p>キビタキ</p>  <p>ムサシノキスゲ</p> | | |
| 計画のテーマでの位置づけ | <p>古多摩川が削り残した奇跡の山とも言われる浅間山。ムサシノキスゲをはじめ絶滅を危惧されている植物が市民団体などを中心に保護・育成されている。日本初の公園墓地である多磨霊園ともきすげ橋で結ばれており、野鳥観察やウォーキングなどの運動で訪れる人も多い。天気の良い日は富士山の眺望も楽しめる。「むさしの・ガーデン紀行」では、自然に触れたり、地形の成り立ちを実体験できるスポット。</p> | | |

構成庭園一覧表

| 構成庭園 の名称 | むさしのこうえん ⑥都立武蔵野公園 | 構成庭園の 所在地 | 府中市、小金井市 |
|------------------------------|---|--------------|---|
| <p>6</p> <p>構成庭園 の概要</p> | <p>【開園面積】255,864.29 (ha/m²) 【入園料金】無料 【公開時期】通年（年末年始のみ管理所休館） 【施設管理者】西武・武蔵野パートナーズ（民間） 【概要】 武蔵野公園は、野川に沿って残る草原や雑木林を配し、野趣に富んだ公園です。東京都の各公園や街路に植える苗木を育てる苗圃（びょうほ）をもち、散歩しながら木々の育成の様子を観察することができます。春には、ソメイヨシノやサトザクラなど多種多様なサクラが順次開花し、花を楽しむ人で賑わいます。秋には野川沿いのモミジの紅葉を楽しめます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ヤエザクラ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>くじら山頂上</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>新緑の苗圃</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>公園内のくじら山から国分寺崖線の眺め</p> </div> </div> <p>【沿革】 戦後、荒廃した東京の緑を復活するために昭和24年頃より失業対策事業の一環として苗木作りが始まり、東京都直営の苗圃として苗木育成が行われてきました。この場所に残る緑や野川を含む地形的条件を生かす一方で、苗木生産を行う場として作られました。</p> <p>【イベント等】 1. はけのおいしい朝市 国分寺崖線、通称「はけ」を多くの人に知ってもらい、訪れてもらうことを目的に開催。地元でお店をもつ食べ物屋さんや手仕事のものなど、様々な出店があります。</p> <p>2. むさしのカレッジ 「暮らしの中で自然とのつながりを育む場」をコンセプトに、「木の下で何する？」シリーズを展開。自然素材を使ったワークショップを通じて、身近な自然をみつめる視点を新たに提案するプログラムを行っています。</p> | |  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>はけのおいしい朝市</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>むさしのカレッジ</p> </div> </div> |
| <p>計画のテーマでの 位置づけ</p> | <p>早咲きから遅咲きまで多様な品種のサクラを見ることができる公園。都内の公園や街路樹の苗木を育てている苗圃もあり散歩をしながら樹木の知識が得られる。公園内にある小山、くじら山から野川の向こうにある国分寺崖線（はけ）を一望できる。「むさしの・ガーデン紀行」では、花木の観察や地域の地形を実感できるスポット。</p> | | |

構成庭園一覧表

| 構成庭園 の名称 | のがわこうえん・しぜんかんさつえん ⑦都立野川公園・自然観察園 | 構成庭園の 所在地 | 三鷹市、調布市、小金井市 |
|------------------------------|---|--------------|---|
| <p>7</p> <p>構成庭園 の概要</p> | <p>【開園面積】403,181.67㎡ 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】西武・武蔵野パートナーズ（民間）</p> <p>【概要】 野川公園は、国分寺崖線に接した豊かな自然と水に恵まれた野趣あふれる公園です。調布、小金井、三鷹の三市にまたがり、起伏のある芝生広場が広がっています。又、公園北側には国分寺崖線の下に湧き出る湧水を集めた「野川」が流れています。自然観察のほか、ピクニックやアスレチック、テニスなどの活動的レクリエーションを楽しめます。</p> <p>【沿革】 野川公園の前身は、国際基督教大学のゴルフ場です。周辺の公園とともに「武蔵野の森構想」で位置づけられています。国分寺崖線から続く武蔵野特有の自然を残し、ゴルフ場跡地の特徴を生かして整備されました。</p> | |  |
| | <div data-bbox="403 1048 804 1346" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="576 1361 608 1391">春</p> <div data-bbox="399 1435 804 1733" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="571 1749 608 1778">秋</p> | | <div data-bbox="962 1238 1370 1536" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1129 1552 1166 1581">夏</p> <div data-bbox="922 1626 1339 1933" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1142 1962 1179 1991">冬</p> |



湧き水広場



曼珠沙華の群生(自然観察園)



新緑の木道



ゲンゲの群生 (自然観察園)

7

【イベント】

・むさしのカレッジ

武蔵野エリアに暮らす人たちが、自分の住む場所の自然や文化について理解を深めることで、地域に対する愛着を深め、暮らしをより豊かにしていくきっかけを作るためのイベントです。

・パークレンジャーやボランティアによる自然観察会

パークレンジャーが、公園の自然に触れながら楽しむ「レンジャープログラム」や子ども対象の「キッズレンジャースクール」を開催。また、公園ボランティアによる植物や野鳥・昆虫の観察会も定期的に行っており、どちらも多くの自然好きが公園に集まり賑わいを見せます。



むさしのカレッジ



レンジャープログラム



ボランティアによる昆虫教室

計画のテーマでの位置づけ

園内の自然観察園では多くのボランティアが作業。植物、野鳥、昆虫のグループに分かれ自然維持活動を行っている。国分寺崖線（はげ）の湧水が流れるひっそりとした環境で、四季折々の花木や野鳥観察を楽しめる。また、野川公園内にある湧き水広場は子どもたちに大人気の場所で、夏でも冷たい水遊びができる。園内を流れる野川は昔の面影を残し、東京とは思えない気分させる貴重なスポット。

構成庭園一覧表

| 構成庭園の名称 | むさしののもりこうえん ⑧武蔵野の森公園 | 構成庭園の所在地 | 府中市、調布市、三鷹市 |
|-------------------------|---|----------|-------------|
| <p>8</p> <p>構成庭園の概要</p> | <p>【開園面積】 385,750 m² 【入園料金】 無料 【公開時期】 通年 【施設管理者】 公益財団法人東京都公園協会 【その他】 【概要】 公園の周囲には武蔵野の森が広がり森の緑を背景として美しい景観が楽しめます。また、各都道府県の石が置かれている「ふるさとの丘」からは調布飛行場が一望でき、澄んだ空気の日には新宿副都心のビルを望めます。 戦争の記憶を残す証拠とし、公園には掩体壕を「平和への語り部」として保存してあります。</p>   <p>花とコニファー園</p>  <p>掩体壕</p>  <p>展望の丘</p>  <p>修景池とカモ</p>  <p>ふるさとの丘</p> <p>【沿革】 この区域は昭和 16 年、東京調布飛行場として開設されました。その後、陸軍や米軍の管理を経て、昭和 49 年に全面返還され、調布基地跡地利用計画としてできた公園です。</p> | | |
| <p>計画のテーマでの位置づけ</p> | <p>国分寺崖線（はげ）の近くに位置する。日本陸軍が利用した調布飛行場の跡地を活用して 2000 年にできた比較的新しい都立公園。伊豆諸島との定期便が飛ぶ現在の調布飛行場を囲むように整備されている。国分寺崖線の森や野川、園内の修景池など水と緑に恵まれた地でもあり、多様な野鳥に出逢える場所となっている。また、園内には、戦争の記憶、記録ともいえる「掩体壕(えんたいごう)」(戦闘機を格納したシェルター)が保存、管理されており、歴史を実感できるスポットでもある。</p> | | |

構成庭園一覧表

| 構成庭園の名称 | <p>おおさわのさと ⑨三鷹市大沢の里 すいしゃけいえいのうか・こみんか 水車経営農家・古民家</p> | 構成庭園の所在地 | 水車経営農家：三鷹市大沢 6-10-15 古民家：三鷹市大沢 2-17-3 |
|---|--|----------|--|
| <p>9 構成庭園の概要</p> | <p>【開園面積】総面積(大沢の里公園) 7611.64 m² 水車経営農家：約 450 m²、古民家：約 118 m²(建物面積) 【入園料金】200 円(中学生以下無料) ※水車経営農家・古民家の共通券 【公開時期】通年(火曜日・年末年始休館) 【施設管理者】三鷹市</p> <p>【概要】 大沢の里水車経営農家の「新車(しんぐるま)」と呼ばれる峯岸家の水車は、文化 5(1808)年頃創設された多機能性を持つ両袖型の大型水車(直径約 4.6m)で、杵 14 台、石臼 2 台を有する規模・形式ともに武蔵野地域を代表する営業用水車です。水車とともに、母屋・カッテ・製粉小屋・土蔵などの建物や水車用水路(さぶた)などが現存する施設。峯岸家は、江戸時代の文化 14(1817)年以来、昭和 40 年代まで 5 代にわたり水車経営に携わってきました。民具なども多数有しており、当時の面影を残しています。市民解説員のガイドが好評です。</p> <p>大沢の里古民家は、明治 35(1902)年に創建された、「四ツ間取り」の典型的な農家の主屋です。かつて農村であった三鷹の昔の暮らしをそのままのかたちで保存、紹介する施設として開館しました。古民家の内部では、この農家でかつて行われていた、国分寺崖線からの湧水を利用したわさび栽培の歴史を紹介しており、当時の道具やわさびの注文書などを展示しています。また、庭園内には、江戸時代から続くわさび田が今も広がり、古民家の縁側からご覧いただくことができます。</p> | |  <p>【沿革】 「水車経営農家」 野川の改修工事により昭和 43 年頃に水車の稼働は停止しましたが、電力を利用した精米製粉は継続され、江戸時代以来の木製の水車機構が奇跡的に保存されています。現在は、伝統的な生活文化や技術を次世代に継承していくために、水循環方式による水車機構の稼働を目的とした整備工事を実施し、動態展示されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和 53 年「水車(新車)」として水車機構が三鷹市民俗文化財指定 ・平成 6 年「古民家」として母屋が三鷹市有形文化財指定 ・平成 10 年「武蔵野(野川流域)の水車経営農家」の名称で、東京都有形民俗文化財に指定 ・平成 21 年「旧峯岸水車場」の名称で、日本機械学会の機械遺産に認定  <p>昭和 45 年(1965)頃の様子</p> |



大沢の田んぼと水車経営農家



水車経営農家の母屋



わさび田から見た古民家



屋敷地と構造物の配置

- A : 母屋
- B : カッテ
- C : 水車装置
- D : 土蔵
- E : 物置
- F : 水車用水路
- G : さぶた・排水口
- H : 通路



水車装置

「古民家」

三鷹市大沢の里古民家「旧箕輪家住宅主屋」は、明治 35（1902）年に創建されました。わさび栽培や養蚕などの生業を営む農家として、数度の改築を経て、昭和 55（1980）年頃まで民家として使われていましたが、平成 19（2007）年に所有者から三鷹市に寄贈されました。かつて農村であった三鷹の原風景を留める貴重な古民家として、平成 21（2009）年に三鷹市指定有形文化財に指定されています。

平成 28（2016）年から解体調査及び復元整備工事を行い、昭和 25（1950）年～55（1980）年頃の佇まいに復元し、平成 30 年 11 月から公開を開始しました。



三鷹大沢わさび



「箕輪山葵園」の名入り半てん



しめ飾りつくり講座

【イベント等】

「水車経営農家」

年に一度、秋ごろに『大沢の里水車古民家まつり』の中で、水車機構を使っでの精米・製粉作業を特別公開しています。江戸時代から工夫を重ねて使用されてきた木造の杵や石臼が水の力だけで動く様子をぜひご覧ください。

「古民家」

月 2 回、古民家の座敷で講座、体験学習、イベントを開催しています。

古民家や昔の暮らし、周辺の自然環境をテーマにした講座／わさび食体験や養蚕、お茶づくり、しめ飾りつくりなどの体験学習／むかし遊びや朗読会、邦楽演奏会などのイベント

計画のテーマでの位置づけ

三鷹市が展開する三鷹型エコミュージアム事業のひとつとして公開されている施設。国分寺崖線（はげ）と野川をのぞむ水と緑にめぐまれた地は、三鷹市大沢の里公園として整備が進められている。「むさしの・ガーデン紀行」では、江戸時代から残る文化遺産や自然、歴史を体験できる貴重なスポット。

構成庭園一覧表

| 構成庭園 の名称 | じんだいしよくぶつこうえん ⑩都立神代植物公園 | 構成庭園の 所在地 | 東京都調布市深大寺元町 5-31-10 |
|-------------------|--|--------------|---------------------|
| 10 構成庭園 の概要 | <p>【開園面積】489,731.10 (㎡)</p> <p>【入園料金】500円/一般、250円/65歳以上、中学生/200円 小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料</p> <p>【公開時期】通年 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）</p> <p>【施設管理者】公益財団法人東京都公園協会</p> <p>【その他】◆概要 武蔵野の面影が残る園内で、四季を通じて草木の姿や花の美しさを味わうことができる。この公園はもともと、東京の街路樹などを育てるための苗圃でしたが、戦後、神代緑地として公開されたあと、昭和36年に名称も神代植物公園と改め、都内唯一の植物公園として開園された。現在、約4,800種類、10万本・株の樹木が植えられており、園内は、ばら園、つつじ園、うめ園、はぎ園をはじめ、植物の種類ごとに30ブロックに分かれており、景色を眺めながら植物の知識を得ることができるようになっている。また、古くから伝わる日本の園芸植物の品種の保存や植物・園芸に関する催しや展示会を開き、都民の緑に対する関心を高めるのに一役買っている。</p> <p>◆みどころ ①ばら園 「本園」、「野生種・オールドローズ園」、「国際ばらコンクール花壇」の3つのエリアで構成されています。約5,000本のバラが年2回見ごろを迎えます。</p> <p>②大温室 熱帯花木、ラン、ペゴニア、熱帯スイレン、小笠原植物、多肉植物など、約1300品種のコレクションを有します。</p> <p>③水生植物園 深大寺裏山の湧水が集まる湿地帯に、アシ、オギなどの水辺の植物が生えている他、カキツバタ、ハナショウブなどもご覧いただけます。一部は「東京都指定史跡深大寺城跡」となっています。</p> <p>◆主なイベント及び（実施月の来園者数）</p> <p>5月 春のバラフェスタ（約180,000人）</p> <p>10月 秋のバラフェスタ（約83,000人）</p> <p>2月 梅まつり（約38,000人）</p> <p>3月 椿・さくらまつり（約68,000人）</p> | | |



【施設写真】

◆植物多様性センター



◆芝生広場



◆サクラ並木



◆うめ園






【園内マップ】



計画のテーマでの位置づけ

日本を代表する植物公園として、武蔵野地域に広がる原種や、江戸を代表する植物展示やイベントを実施している。園内は、本園の他にも植物多様性センターと水生植物園を有する。水生植物園は国分寺崖線の谷戸の湿地を整備したもので、田んぼも復元されている。また、水生植物園の地区内にある「深大寺城跡」は、中世日本の城跡が鮮明に残る貴重な施設として、当時の状況を今に残している。「むさしの・ガーデン紀行」においては、自然と歴史が共存する見どころの多いスポット。

構成庭園一覧表

| 構成庭園 の名称 | じんだいじ ⑪深大寺 | 構成庭園の 所在地 | 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町 5-15-1 |
|--|---|--------------|---------------------------------|
| 11 構成庭園 の概要 | <p>【開園面積】約 57,000 m² 【入園料金】無料（釈迦堂は拝観料 300 円） 【公開時期】通年 【施設管理者】宗教法人 深大寺 【その他】</p> | | |
| | <p>概要： 深大寺は 733 年に開創された東京で最も古い寺院の一つで、厄除けや縁結びの寺としても有名です。武蔵野の緑豊かな森の中に位置する境内にはいくつものお堂があり、中でも釈迦堂には、都内のお寺の仏像では唯一の国宝である「釈迦如来像」が祀られています。また 400 年余りの歴史を持つ「深大寺そば」も有名で、門前の参道には 20 軒あまりのそば屋が並び、大変な賑わいを見せています。その風情豊かな環境は多くの俳人や歌人に愛され、境内には多くの句碑・歌碑が存在します。</p> <p>行事：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 月 初詣、大護摩供 ・2 月 3 日 節分会豆まき式 ・3 月 3 日、4 日 厄除元三大師大祭・だるま市 ・4 月下旬～5 月上旬 なんじゃもんじゃコンサート ・5 月下旬 薪能 ・7 月下旬 ほおずき祭り ・10 月頃 十三夜観月会 ・11 月下旬頃 そば祭り <p>参拝者数： 正月（1/1～1/31 合計） 20 万人 厄除元三大師大祭（3/3、4 合計） 7 万人</p> | | |
|  | | | <p>国宝・釈迦如来像</p> |
|  | | | <p>山門</p> |
|  | | | <p>常香炉と本堂</p> |
|  | | | <p>鐘楼</p> |
|  | | | <p>元三大師堂</p> |



開山堂



深沙堂



参道の枝垂桜



なんじゃもんじゃコンサート



地蔵の里



湧水の流れ落ちる池



節分会



参道

計画のテーマでの位置づけ

国分寺崖線（はげ）の谷戸の地形を利用して建立。背後は深い雑木林におおわれ、境内から流れる湧水は野川にそそいで行く。開基は武蔵国分寺より8年早い天平5年(733年)とされる。東日本最古の国宝仏「釈迦如来像」は白鳳期の傑作とされる。参道には名物「深大寺そば」の店が並び、崖線上の「神代植物公園」と一体化した観光地となっている。「むさしの・ガーデン紀行」においても、自然・歴史・文化・グルメをまるごと楽しめる主要なスポット。

構成庭園一覧表

| 構成庭園 の名称 | じんだいじしぜんひろば ⑫深大寺自然広場 ちょうふしやそうえん 調布市野草園 | 構成庭園の 所在地 | 深大寺南町 2 丁目 16 番地 1 |
|-------------------|---|---|--------------------|
| 12 構成庭園 の概要 | <p>【開園面積】 35,785 m² 【入園料金】 無料 【公開時期】 通年 ※野草園は、3月～10月 午前10時～午後4時開園 休園日：月曜日及び祝祭日 6月～10月はこのほかに第1・第3・第5土曜日及び日曜日 【施設管理者】 調布市 【概要・沿革】 深大寺自然広場は、昭和57年度から都立神代公園事業予定地を東京都より借り受け、豊かな緑と水辺の自然環境を利用し、深大寺自然広場（野草園、自由広場、キャンプ場）として市民の利用に供してきました。調布市野草園は直営により、2年の歳月をかけ、昭和59年5月開園に至りました。</p>  <p>自由広場</p> <p>調布市野草園は、武蔵野の古き良き時代の面影を残す深大寺にあり、このあたりは、崖線に沿って、豊かな自然が保護され、静かなひと時を私たちに与えてくれます。日本の草花は古くから歌に詠まれたり、薬草として利用されたりと様々な形で私たちの生活の一部に取り込まれています。</p> <p>野草園は昭和59年から一般公開を行い、四季折々の草花が咲き、訪れる人の目を楽しませてくれます。多摩地区に昔から自生していたものを中心に集め、保護を目的とした育成管理に努め、増殖、繁殖を重ね、現在は自生種を含め約300種、1万本以上の野草が約4,000 m²に植えられています。</p>    <p>崖線の園路(野草園) ヤマブキソウの群生(野草園) カタクリの群生(自然広場北斜面)</p> |  | |
| 計画のテーマでの 位置づけ | 緑豊かな深大寺地区にある自然スポット。「武蔵野・ガーデン紀行」において、ここが東京?!と感じてしまう代表的なエリア。一方で、深大寺や神代植物公園にも近く散策ルートを形成しやすい。隣接して都立農業高校の神代農場があり、国分寺崖線（はげ）の谷戸の地形を利用した圃場では、ワサビの栽培やニジマスの養殖などが行われている(神代農場は、原則木曜日が公開日)。 | | |

構成庭園一覧表

| 構成庭園 の名称 | ⑬調布市武者小路実篤記念館 ちょうふしむしゃこうじさねあつきねんかん ちょうふしさねあつこうえん ・調布市実篤公園 | 構成庭園の 所在地 | 実篤記念館：調布市若葉町 1-8-30 実篤公園：調布市若葉町 1-23-20 |
|---------------------------------|---|--------------|--|
| <p>13 構成庭園 の概要 (※2)</p> | <p>【開園面積】調布市武者小路実篤記念館（以下実篤記念館）1490.998 m² 調布市実篤公園（以下実篤公園）5002.16 m² 【入園料金】実篤記念館/大人 200 円小・中学生 100 円 実篤公園/無料 【公開時期】通年 ※実篤記念館・実篤公園共に月曜日、12 月 28 日～1 月 3 日 休館・休園（ただし月曜が祝日の場合は開館・開園し、翌平日休） 【アクセス】京王線「仙川駅」または「つつじヶ丘駅」下車徒歩 10 分 【施設管理者】実篤記念館・実篤公園（調布市） 【概要・沿革】 実篤公園は昭和 30 年に文豪・武者小路実篤が、調布市仙川の地に越して来たときに建てられた邸宅と庭園が元になっています。晩年の 70 歳から 90 歳までの 20 年間で、妻と二人、心穏やかに暮らした家と庭は、実篤の死後、遺族から調布市に寄贈され、実篤公園として昭和 53 年に開園しました。同じく寄贈された旧蔵の美術品や著書などは、隣接地に建てられた実篤記念館にて公開されています。 国分寺崖線に位置する実篤公園は、「水のあるところ」「土筆が生えるところ」「古い土器が出る場所」に住みたいという実篤の希望が叶う場所でした。清廉な湧水に恵まれた池にはニジマスや鯉が泳ぎ、武蔵野の豊かな自然が今も残ります。 その生涯で文学・美術・思想と幅広い分野で活躍した実篤の業績を紹介する実篤記念館では、個人記念館としては珍しく常設展示を設けず、年 8 回のテーマを変えた展示によって、多角的に実篤の仕事について紹介しています。 平成 30 年に登録有形文化財に登録された旧実篤邸は、土日祝日には邸内に入って見学することができます。書画のモチーフがところせましと並べられた仕事部屋、友人たちを迎えた応接室などを見ながら、実篤の心豊かな生活を感じていただければと思います。</p> | |  <p>案内図</p> <p>京王線 仙川駅方面 出入口 公園管理棟 実篤公園 旧実篤邸 (登録有形文化財) 地下通路 実篤銅像 ヒカリモ (夜通し～9月頃) 水源(湧水池) 上の池 あずまや 地下通路 実篤記念館 公園・記念館 出入口 あずまや 京王線 つつじヶ丘駅方面 駐車場</p> |
| <p>計画のテーマでの 位置づけ</p> | <p>国分寺崖線上に位置する実篤公園は、実篤が暮らした時の景色そのままに保存しているため、昭和 30 年～50 年代の武蔵野の自然が多く残る。他の国分寺崖線の構成庭園との周遊によって、現在の武蔵野の様子と違いを感じながら環境について考えるきっかけとなる。</p> | | |



実篤記念館外観



池を眺める実篤



旧実篤邸 仕事部屋


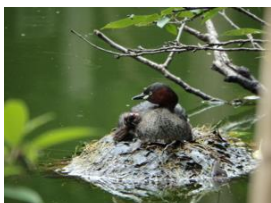



湧水の池

構成庭園一覧表

| 構成庭園の名称 | ⑭三鷹市山本有三記念館庭園 ゆうぞうきねんこうえん 有三記念公園 | 構成庭園の所在地 | 三鷹市 |
|---------------|---|----------|-----|
| 14 構成庭園の概要 | <p>【開園面積】 総面積 3,692.54 m² (内 1,305.20 m²は有三記念公園) 【入園料金】 無料 【公開時期】 休館日：月曜日、年末年始(12月29日～1月4日) ※ただし、月曜日が休日の場合は開館し、その翌日と翌々日休館 【施設管理者】 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団・三鷹市</p> <p>【概要】 三鷹市ゆかりの文学者である山本有三が昭和11年から昭和21年まで家族と暮らした家(洋館)を、山本有三の生涯と作品を紹介する「三鷹市山本有三記念館」として開館しています(三鷹市山本有三記念館・入館料300円)。敷地内北側の山本有三記念館庭園のほか、南側には有三記念公園があり、ともに無料で開放しています。玉川上水沿いの「風の散歩道」は四季折々、武蔵野の自然に親しむ絶好の散歩スポットです。山本有三記念館の荘厳な洋館を眺めながら、素敵な公園をお楽しみください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  入口 </div> <div style="text-align: center;">  三鷹市山本有三記念館 </div> <div style="text-align: center;">  有三記念公園 </div> </div> <p>【沿革】 山本有三は、三鷹のこの地で代表作「路傍の石」や戯曲「米百俵」を執筆するとともに、自らの蔵書を利用して「ミタカ少国民文庫」を開設するなど、多彩な活動を行いました。戦中、7回に渡る空襲でも戦火を免れた三鷹の家は、進駐軍に接收されますが、接收解除後は、国立国語研究所三鷹分室や有三青少年文庫として利用された後、平成8年に、現在の「三鷹市山本有三記念館」として開館しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  竹林 </div> <div style="text-align: center;">  記念館の花壇 </div> <div style="text-align: center;">  新緑の公園 </div> </div> <p>現在は、山本有三の生涯と作品を紹介する施設として公開。企画展、朗読会、子ども向けイベントなどの各種事業を行っています。また、有三記念公園は、少年、少女に心の糧を与え育成しようとした山本有三の意思を受け継ぎ、昭和62年6月22日に開園しました。</p> <p>【イベント等】 おはなし会(年間10回) / アフタヌーン・ミニコンサート(年間3回) / 春、秋の朗読コンサート(春2回、秋1回)</p> | | |
| 計画のテーマでの位置づけ | <p>玉川上水・三鷹市エリアの散歩道「風の散歩道」の隣にある施設。三鷹駅から都立井の頭恩賜公園や三鷹の森ジブリ美術館に向う道で、外国人観光客の姿も多く目にする。近くには太宰治文学サロンもあり、「武蔵野・ガーデン紀行」では、歴史や自然のみならず、文学に親しめる貴重なスポット。</p> | | |

構成庭園一覧表

| 構成庭園 の名称 | いのかしらおんしこうえん ⑮都立井の頭恩賜公園 | 構成庭園の 所在地 | 三鷹市、武蔵野市 |
|-------------------------------|--|--|---|
| <p>15</p> <p>構成庭園 の概要</p> | <p>【開園面積】428,389.99㎡</p> <p>【入園料金】無料</p> <p>【公開時期】通年</p> <p>【施設管理者】東京都西部公園緑地事務所</p> <p>【概要】大正6年に開園した井の頭恩賜公園は、2017年に開園100周年を迎えました。開園当時は、郊外に位置する公園とされていましたが、現在では、住宅地に隣接する貴重な緑の空間として親しまれています。園内は、井の頭池周辺、雑木林のある御殿山、運動施設のある西園、第二公園と4区域に分かれています。また、井の頭池周辺は低地、御殿山周辺は高台になっており、変化に富んだ景観が楽しめます。公園には、都会の公園でありながら、植栽された樹木のほかにも季節ごとに様々な草木が自生し、多様な環境を持っているため、多様な生き物が暮らしています。公園は、そんな生き物たちを身近に観察でき、自然の仕組みが学べる貴重な場所です。</p> <p>【沿革】</p> <p>歌川広重の「名所江戸百景」などにも描かれた井の頭池は、江戸の水源として江戸時代から有名な景勝地でした。明治時代に入ると帝室御料林となりますが、東京市が「井之頭公園設置計画書」を策定し、大正2（1913）年、東京市に帝室御料地が下賜されました。そして、井之頭公園開設工事が始まり、大正6年（1917）年5月1日、日本で最初の恩賜公園、最初の郊外公園として開園しました。</p> <p>【イベント】</p> <p>手作りアートの出店やパフォーマンスが行われるアートマーケットを開催。</p> <p>【かいぼり】</p> <p>井の頭池では、水草を保全し池の生態系の復活をめざす活動の「かいぼり」がボランティアとの協働で行われています。2017年の開園100周年に向けて3回行われ、その後も数年に一度行う予定になっています。</p> | |   <p>カイツブリの巣</p>  |
| | <p>計画のテーマでの 位置づけ</p> | <p>井の頭池周囲のサクラ、御殿山の雑木林と梅林など多様な樹木が生息し、かつての武蔵野の面影を感じることができるスポット。また、西園には、三鷹の森ジブリ美術館があり、世界中のアニメファンの来場で賑わっている。「むさしの・ガーデン紀行」においては、鉄道駅（JR吉祥寺・三鷹、京王井の頭）に近い都市公園として貴重な存在となっている。</p> | |

構成庭園一覧表

| 構成庭園 の名称 | いのかしらしぜんぶんかえん ⑯井の頭自然文化園 | 構成庭園の 所在地 | (動物園) 武蔵野市 (水生物園) 三鷹市 |
|--|---|--------------|--------------------------|
| 構成庭園 の概要 | <p>【開園面積】115,500㎡ 【入園料金】一般400円、中学生150円、65歳以上200円 ・小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料 【公開時期】休園日は毎週月曜日、年末年始(12月29日～翌年1月1日) (月曜日が祝日・都民の日にあたるときは開園し、翌日に休園) 【施設管理者】公益財団法人東京動物園協会</p> | | |
| | <p>【概要】 井の頭自然文化園の敷地面積は約11.6ヘクタール、井の頭恩賜公園のほぼ3分の1にあたり、資料館・彫刻館などのある動物園(本園)と、水生物館が位置する水生物園(分園)に分かれています。動物園には、武蔵野ハビタット、野鳥の森、リスの小径や日本産動物の飼育施設などの動物施設と武蔵野の面影を残す雑木林を背景に山野草園・ツバキ園・彫刻館などが散在しています。水生物園には、水生物館、ハクチョウの池、水禽舎など水に関係のある施設が集められ、水生物館では日本産淡水魚及び両生類の飼育展示と保護増殖を行っています。</p> | | |
| 16 | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="405 994 963 1921" style="width: 45%;">  </div> <div data-bbox="1011 994 1433 1164" style="width: 45%;">  <p>リスの小径</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1011 1218 1433 1464" style="width: 45%;">  <p>いきもの広場</p> </div> <div data-bbox="1011 1487 1433 1657" style="width: 45%;">  <p>モルモットふれあいコーナー</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1011 1688 1433 1921" style="width: 45%;">  <p>彫刻館</p> </div> </div> | | |
| <p>【沿革】 井の頭池の中之島に井之頭恩賜公園動物園を設置したのが昭和9年5月であり、昭和11年には、ここにわが国初の淡水水族館を開設しました。この井之頭恩賜公</p> | | | |

園動物園と御殿山地区の自然生態園地区を併せて、昭和17年5月17日に「東京市井の頭恩賜公園自然文化園」として開園しました。「行楽の間に自然科学知識の普及向上に寄与する」という大テーマの下、大放飼場を中心に動物舎・小禽舎や資料陳列館などが整備され、動植物を始め総合的な野外博物館としての性格を持つ施設です。戦中、戦後の混乱した時代を経て、昭和22年に「東京都井の頭自然文化園」と改称しました。

【イベント・展示等】

1. モルモットふれあいコーナー
動物とのふれあいを通じて命の尊さを体感するイベントを毎日実施しています。
2. 秋の開園3時間延長
彫刻園等も含め、さわやかな秋の夜を楽しめる夜間延長を実施しています。
3. February Concert at the Zoo
日曜日に彫刻館でコンサートを開催しています。



【「花ごよみ」の発刊】

園内では季節ごとの多様な植物を楽しむこともでき、植物の名前や開花状況をお知らせする「花ごよみ」を制作し、事務所と売札窓口で配布しています。

計画のテーマでの位置づけ

武蔵野の面影を残す雑木林を背景に動物のみならず、山野草園・ツバキ園・彫刻館・水生館などが散在。さらには「赤い靴」、「しゃぼんだま」などの童謡を作詞した野口雨情の書斎を移築した「童心居」などもあり、奥深い散策を楽しめる。

構成庭園一覧表

| 構成庭園の名称 | たまがわじょうすいりょくどう ⑰都立玉川上水緑道 | 構成庭園の所在地 | 福生市、昭島市、立川市、小平市、三鷹市、武蔵野市、杉並区 |
|--------------------------|---|----------|------------------------------|
| <p>17</p> <p>構成庭園の概要</p> | <p>【開園面積】 136,526.45 m² 【入園料金】 無料 【公開時期】 通年 【施設管理者】 西武・武蔵野パートナーズ（民間）</p> | | |
| | <p>【概要】 玉川上水に沿って造られた緑道です。江戸の人口が増えて井戸や小川だけでは飲料水を賄えなくなったため、江戸幕府は多摩川の水を江戸に引くことを計画しました。1653年に玉川庄右衛門、清右衛門の兄弟が完成させたといわれており、以後玉川上水と呼ばれるようになりました。</p>  <p>【沿革】 玉川上水は取水口である多摩川の羽村から四谷大木戸までの43kmに及ぶものですが、この間の落差が小さく勾配が緩やかなため、うまく水を流すのに苦心したと伝えられています。平成11年には宮本橋より下流地域が、東京都の歴史環境保全地域に指定され、また、平成15年には羽村取水口より下流地域が、国の史跡に指定されています。現在、玉川上水緑道として開園されているのは、杉並区の浅間橋から福生市の平和橋までの24.2kmです。</p>  <p>【イベント等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイドウォーク 緑道で見られる自然や生き物などについて、パークレンジャーがガイドします。  2. ノルディックウォーキング スポーツコーディネーターが、体の正しい動かし方、ノルディックポールの使い方等、ウォーキングのコツをアドバイスし、緑道を歩きます。  | | |
| <p>計画のテーマでの位置づけ</p> | <p>江戸時代に作られた玉川上水。今は遊歩道となり、武蔵野の面影を残す雑木林の散策を楽しめる。玉川上水沿いの境浄水場近くには、小説「武蔵野」で有名な国木田独歩の文学碑がある。また、玉川上水の三鷹エリアの近くには、山本有三記念館や太宰治文学サロンがあり、太宰治の入水地としても有名になった。「むさしの・ガーデン紀行」では自然と歴史・文学に親しむことができるスポット。</p> | | |

構成庭園一覧表

| 構成庭園 の名称 | よくおんかんこうえん ⑱浴恩館公園(小金井市文化 財センター) | 構成庭園の 所在地 | 小金井市緑町三丁目2番、小金井市 緑町四丁目15番 |
|----------------------|---|--------------|---|
| 18 構成庭園 の概要 | <p>【開園面積】14,278 m² 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】小金井市 【概要・沿革】</p> <p>下村湖人の小説『次郎物語』の舞台となった地。落葉樹が多く、春には新緑、秋には紅葉など、季節ごとの趣を楽しめる場所。昭和63年に小金井市の公園として整備された。園内には市史跡にも指定されている浴恩館があり、古資料・古文書・民具等の文化財を保存・展示し、身近な郷土の歴史を学べる施設で、昭和初期の趣を漂わせています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>■小金井市文化財センター</p> <p>当館は教育者下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説「次郎物語」の構想を練った浴恩館を改修し、博物館施設としたものです。</p> <p>展示室では原始・古代・中世、近世、近代、暮らしと仕事、さらには浴恩館と下村湖人コーナーに分けており、小金井市の歴史を学べる構成となっています。展示物は、縄文土器、古文書、下村湖人の原稿等の貴重な資料を常時ご覧いただけます。</p> <p>【イベント・展示等】</p> <p>企画展：年間2回（春季・秋季で開催）。春季展は史跡玉川上水や名勝小金井（サクラ）の歴史について、秋季展は毎年異なるテーマ設定で実施。</p> <p>事業：文化講演会（11月）や地域史講座（冬季）、はた織り教室（夏季）、南寮（座敷部屋）開放等</p> | |  |
| 計画のテ ーマでの 位置づけ | <p>小金井市の玉川上水の近くに位置する。小金井市文化財センターで行う企画展では、玉川上水や小金井桜の歴史を学べる貴重な資料が展示されている。</p> | | |

構成庭園一覧表

| 構成庭園の名称 | こがねいこうえん ⑱都立小金井公園 | 構成庭園の所在地 | 小金井市、小平市、西東京市、武蔵野市 |
|---------------|---|----------|--------------------|
| 19 構成庭園の概要 | <p>【開園面積】802,341 m² 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】公益財団法人 東京都公園協会 【概要】玉川上水に位置した、面積約80ヘクタール（日比谷公園の4.9倍、上野公園の1.5倍）の広大な公園です。この公園は広々とした草地、それを取り巻く雑木林、桜の園、子どもの広場、弓道場、SL (C57) 展示、16面のテニスコートと内容豊かな公園です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <p>SLの展示</p> <p>コスモスの群生</p> <p>シダレザクラの並木</p> </div> <p>【沿革】 前身は、昭和15年の紀元2600年記念事業で計画された小金井大緑地。戦後、東宮仮御所に使用され、また農地解放により4割を失いましたが、29年に都市公園として開園されました。</p> <p>【主な取組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> うめまつり 梅の開花に合わせ、野点や雅楽等の伝統文化を体感していただくイベントを開催しています。 サクラプロジェクト サクラの名所を守るため、ボランティアとの協働で保全と再生を進めるサクラプロジェクトを実施しています。 <div style="display: flex; justify-content: flex-end; margin-top: 10px;">   </div> | | |
| 計画のテーマでの位置づけ | <p>玉川上水の近くに位置する都内有数の広大な公園。園内に江戸東京たてももの園もある。小金井は江戸時代から桜の名所として知られ、小金井公園でも玉川上水堤「名勝小金井(サクラ)」の伝統を引き継ぐヤマザクラを筆頭に、ソメイヨシノ、カスミザクラ、サトザクラなど多様な桜を見ることが出来る。早咲きから遅咲きまで約2ヵ月間、桜の探訪を楽しめる場所。日本さくら名所100選にも選定されている。</p> | | |

構成庭園一覧表

| 構成庭園の名称 | えどうきょうたてもものえん ⑳江戸東京たてももの園 | 構成庭園の所在地 | 東京都小金井市桜町 3-7-1 (都立小金井公園内) |
|---------------|---|----------|-------------------------------|
| 20 構成庭園の概要 | <p>【開園面積】約7ha 【入園料金】400円(一般) 【公開時期】通年 【施設管理者】公益財団法人東京都歴史文化財団 【沿革】失われてゆく江戸・東京の歴史的な建物を移築保存し展示する目的で、東京都が1993年(平成5)江戸東京博物館の分館として、敷地面積約7haを擁する「江戸東京たてももの園」を建設。現地保存が不可能な文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示するとともに、貴重な文化遺産として次代に継承することを目指しています。</p> <p>【概要】高橋是清邸や三井八郎右衛門邸、江戸時代の居酒屋「鍵屋」、唐破風建築の銭湯「子宝湯」、現在の三鷹市にあった江戸時代の農家「吉野家」など30棟の歴史的建造物を移築・復元展示した野外博物館。園内には武蔵野の面影を残す雑木林が広がる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ビジターセンター(旧光華殿)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●天明家(農家)江戸時代後期 ●小寺醤油店 1933年(昭和8) ●鍵屋(居酒屋)1856年(安政3) ●子宝湯 1929年(昭和4) ●仕立屋 1879年(明治12) ●武居三省堂(文具店)1927年(昭和2) ●花市生花店 1927年(昭和2) ●万世橋交番 明治後期(推定) ●植村邸 1927年(昭和2) ●丸二商店(荒物屋)昭和初期 ●村上精華堂 1928年(昭和3) ●川野商店(和傘問屋)1926年(大正15) ●大和屋本店(乾物屋)1928年(昭和3) ●万徳旅館 江戸時代末期～明治時代初期 ●ビジターセンター(旧光華殿)1940年(昭和15) ●旧自証院霊屋 1652年(慶安5) ●高橋是清邸 1902年(明治35) ●西川家別邸 1922年(大正11) ●伊達家の門 大正期 ●会水庵 大正期頃 ●常盤台写真場 1937年(昭和12) ●三井八郎右衛門邸 主屋:1952年(昭和27) 土蔵:1874年(明治7) ●奄美の高倉 江戸時代末期頃 ●吉野家(農家)江戸時代後期 ●八王子千人同心組頭の家 江戸時代後期 ●前川國男邸 1942年(昭和17) ●田園調布の家(大川邸)1925年(大正14) ●綱島家(農家)江戸時代中期 ●小出邸 1925年(大正14) ●デ・ラランデ邸 1910年(明治43)頃 夜間特別公開のライトアップ | | |
| 計画のテーマでの位置づけ | <p>都立小金井公園内にある。東京の建物の歴史を体感できる野外博物館で、武蔵野の面影を感じる広大な樹林ゾーンもある。2・26事件の現場となった高橋是清邸では、港区赤坂にあった高橋是清邸庭園の一部も復元。組井筒を水源にした流れと、雪見型灯籠を含む景観を観賞できる。また、子宝湯や武居三省堂(文具店)などジブリ映画のモチーフとなったとされる建物もあり、アニメファンのみならず興味深い。歴史、文化、自然と見どころ満載のスポット。</p> | | |

構成庭園一覧表

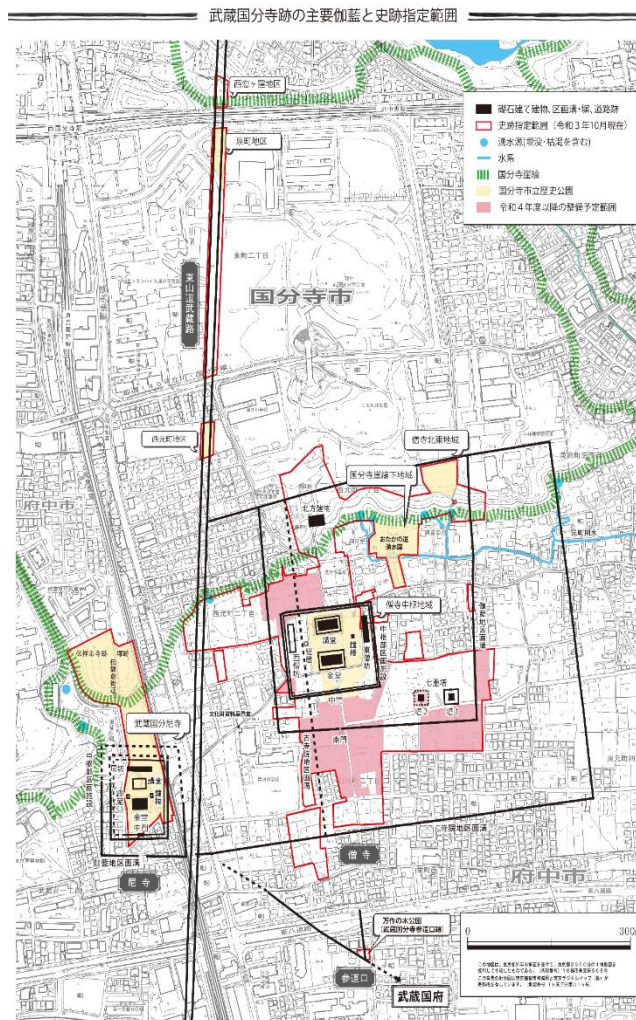
| 構成庭園 の名称 | ②国分寺市立歴史公園 <small>こくぶんじしりつれきしこうえん</small> | 構成庭園の 所在地 | 国分寺市 |
|------------------|--|--------------|------|
| 1 構成庭園 の概要 | <p>【開園面積】約 33,960 m² (令和 4 年 8 月 31 日現在) 【入園料金】無料(おたかの道湧水園は一般 100 円の入園料要。中学生以下無料) 【公開時期】通年(おたかの道湧水園は月曜日休園。祝日・振替休日の場合はその翌日。年末年始。) 【施設管理者】国分寺市教育委員会 【その他】環境省選定名水百選「お鷹の道・真姿の池湧水群」、東京都指定名勝「真姿の池湧水群」が隣接しています。</p> <p>【概要】天平 13 年 (741), 聖武天皇の「国分寺建立の詔」によって全国に国分寺が造営されました。中でも武蔵国分寺は、関連する住居跡群を含めると東西約 1.5km, 南北約 1 km とひとときわ広い寺地を有していました。史跡に指定されている武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡は、古代に都と諸国の国府を結んだ七道駅路の一つである東山道の支路「東山道武蔵路」が僧尼寺間を走り、古代道路跡と国分僧尼寺跡がセットで保存されている稀有な史跡です。 この史跡地のうち、武蔵国分尼寺跡、史跡東山道武蔵路跡(武蔵国分寺跡北方地区)、史跡武蔵国分寺跡(僧寺北東地域・国分寺崖線下地域・僧寺中枢地域)のエリアを順次整備し、歴史公園として公開しています。</p> <p>【沿革】江戸時代には「江戸名所図会」にも描かれ、著名な観光名所であった武蔵国分寺跡。明治・大正時代には実地踏査が行われ、全国の国分寺跡に比べて規模が大きく、歴史的な重要性が認められていたことから、大正 11 年 (1922) に史跡に指定されました。また、平成 22 年 (2010) には、武蔵国分寺跡と密接な関係をもつ遺跡として東山道武蔵路跡が附で指定を受けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おたかの道湧水園 お鷹の道の北側にあり、代々国分寺村の名主であった本多家の屋敷地跡にある有料施設です。園内には、「見る」・「学ぶ」・「訪ねる」をコンセプトにした武蔵国分寺跡資料館のほか、市重要有形文化財の旧本多家住宅長屋門(江戸時代末期)・倉(明治時代)があり、発掘調査の出土品や市内の文化財を紹介しています。 園内北側は国分寺崖線にかかり、崖線一帯には、湧水源をはじめ良好な自然環境が残されています。園内は、四季折々の植物やいきものが見られ、湧水を引いてつくられた池周辺の散策も楽しめます。お鷹の道を挟んだ南側には、無料休憩施設である史跡の駅「おたカフェ」があります。 ・武蔵国分寺跡(国指定史跡) 武蔵国分寺は武蔵国府から北へ約 2 km の場所に位置し、湧水が豊富な国分寺崖線を背に、東山道武蔵路を挟んで東に僧寺、西に尼寺が配置されました。一帯は中国の思想に基づく四神相応の地(青龍=東に川、朱雀=南に低湿地、白虎=西に道路、玄武=北に丘陵)で、「国華」と呼ばれた国分寺にふさわしい好所に建てられました。僧寺の正式名称は「金光明四天王護国之寺」で、僧が 20 人配置されました。 公園は本尊仏がある金堂、講義を行っていた講堂をはじめとする主要伽藍の基壇復元を中心に整備し、供用を開始しています。重要な経典を安置し、国分寺の象徴的な建物であった七重塔跡の周辺は、桜の名所としても親しまれています。 ・武蔵国分尼寺跡(国指定史跡) 僧寺から東山道武蔵路をはさんだ約 300m 西に位置します。尼寺の正式名称は「法華滅罪之寺」で、尼僧が 10 人配置されていました。諸国国分尼寺の中には所在が不明な場所が多く、武蔵国尼寺は発掘調査によって伽藍配置や規模が判明している貴重な例です。 公園は平成 15 年に開園し、一部復元された掘立柱塀のほか、金堂基壇復元や基壇版築のはぎ取り標本などを見学できます。 尼寺跡北方には、国分寺崖線の雑木林を貫いた切通し状の道、「伝鎌倉街道」があり、市の重要史跡に指定されています。街道の東には塚、西には伝祥応寺があり、 | | |

いずれも中世の遺跡です。

・東山道武蔵路跡（国指定史跡）

国分寺造営以前の7世紀後半頃に敷設された東山道武蔵路は、市内を南北に縦貫し、武蔵国府へ通じる往還路としての役割だけでなく、東山道と東海道の駅路をつなぐ重要な連絡路としても機能していました。約12mという広大な道路幅をもつ直線道路で、市内では泉町・西元町・西恋ヶ窪と3か所が史跡に指定されています。

泉町地区では、平地から斜面地に向かう場所で、両側溝をもつ道路から切通し状へと構造が変化する様子を復元している遺構再生展示施設もご覧いただけます。



国分寺市立歴史公園位置図（黄色部分）



おたかの道湧水園



武蔵国分寺跡（僧寺）



武蔵国分寺跡（尼寺）



東山道武蔵路跡
（泉町地区）

計画のテーマでの位置づけ

むさしの・ガーデン紀行 ―水と緑と歴史の回廊― は、国分寺崖線と野川、玉川上水の周辺施設を中心に地域が連携する取組みであるが、国分寺市立歴史公園は、国分寺崖線のほぼ西の端、野川の最上流部に位置する公園である。その歴史は古代武蔵国まで遡り、「むさしの・ガーデン紀行」に重層的な歴史的背景をもたらすものである。また、この地は国分寺崖線からの湧水が豊かな場所でもあり、環境省の名水100選にも選ばれた湧水群が存在している。

構成庭園一覧表

| 構成庭園の名称 | とりつ たまれいえん ②都立多磨霊園 | 構成庭園の所在地 | 府中市／小金井市 |
|-------------------------|--|----------|----------|
| <p>1</p> <p>構成庭園の概要</p> | <p>【開園面積】1,280,237㎡ 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】公益財団法人 東京都公園協会（東京都指定管理者） 【概要】 新宿の西方約20km、緑に囲まれた武蔵野の面影を残す霊園。面積は128ヘクタールと都立霊園の中で最大の規模を誇ります。この霊園は海外の森林墓地を参考にして作られたわが国最初の公園墓地であり、わが国初の都市計画共葬墓地として知られています。園内には芝生墓地や壁墓地、大規模納骨堂や合葬墓地、樹林墓地など様々な形態の墓地があり、各界の著名人墓所も多く、視察や散策に訪れる人も多い霊園です。</p> <p>【沿革】 多磨霊園は大正12年（1923年）4月に開設されました。わが国最初の公園的風景を取り入れた大規模な墓地です。当時東京市の人口は増加を続け、市内の墓地不足が進行していました。そこで、大正8年に新設計画が立てられ、大正12年開設のはこびとなったものです。当初は「多磨墓地」という名称でスタートしましたが、昭和10年「多磨霊園」と名称が改められました。 開設時はおよそ100万㎡の広さでしたが、昭和14年になって西側へ拡張を行い、現在は約128万㎡（およそ39万坪）と都立8霊園のなかで最も広い面積を有しています。霊園全体の面積のうち、実際の墓所面積の割合を敷地全体50%以下に抑え、豊かな緑地等を確保しています。 墓域は園路によって26区の区域に分けられ、個々の墓所にはすべて番号をつけて整理されています。なお、平成5年には用地が不足する大都市における新しい墓地形式としての「みたま堂」（新納骨堂）が、また平成15年には合葬式墓地、令和3年には樹林型合葬埋蔵施設1号基、令和4年には樹林型合葬埋蔵施設2号基が完成しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>正門</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>噴水塔</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>みたま堂</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>樹林型合葬埋蔵施設2号基</p> </div> </div> | | |

| | | |
|--|--------------|--|
| | 計画のテーマでの位置づけ | <p>むさしの・ガーデン紀行の構成庭園のひとつとなっている都立浅間山公園に近接。大正12年（1923年）に開設された日本初の公園墓地で豊かな緑地を有し、地域住民の散歩や自然散策、野鳥観察の場としても親しまれている。四季折々の花木が園内を彩り来訪者を楽しませてくれるが、中でも春の枝垂れ桜は一見の価値がある。また、政財界、文学者、俳優など各界の著名人の墓所も多く、故人を偲びながらの散策も楽しめる。むさしの・ガーデン紀行では、唯一の公園墓地で、その多様なラインナップを構成する貴重な存在である。</p> |
|--|--------------|--|

その他計画の実施にあたって必要な事項

●森の地図スタンプラリーのラリーポイント協力施設 (80 施設)

下記の施設は、2012 年から約 8 年間に渡り、春・秋、全 15 回行って来たスタンプラリーの全施設です。公園・庭園をベースに緑ゆたかな地域に点在する博物館や美術館、大学からスポーツ施設、カフェにいたるまで多彩な施設で網羅されています。関係する自治体の主だった施設もメンバーに入っており、今後の取組み課題である「モデルコースの策定」においても回遊空間を構成する魅力ある施設として協力関係を深化させていきます。

これらの協力施設とのネットワークは、今後のガーデンツーリズムの基盤として、より一層、深化させるとともに、新たな施設を巻き込んだネットワークの構築・拡大を図っていきます。

また、回遊の便利な足となるレンタサイクルについては、JR 中央線の 4 駅で大規模なシェアサイクルを展開している Suicle (スイクル) と協力関係にあり、今後も継続していきます。

| | | | | |
|---------|--------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|
| 公園・庭園 | 都立殿ヶ谷戸庭園 | その他施設・カフェ | 史跡の駅おたカフェ | |
| | 都立武蔵国分寺公園 | | 黄金や(小金井市タウンシヨップ) | |
| | 都立府中の森公園 | | 調布のやさい畑 | |
| | 都立武蔵野の森公園 | | JAXA調布航空宇宙センター | |
| | 都立野川公園・サービスセンター | | musashinoはげの森カフェ | |
| | 都立野川公園・自然観察センター | | サントリーむさしのブルワリー | |
| | 滄浪泉園(小金井市) | | 府中市郷土の森物産館 | |
| | 東京都多摩霊園 | | 調布飛行場 | |
| | 都立武蔵野公園 | | 鬼太郎茶屋 | |
| | 都立神代植物公園 | | JA三鷹緑化センター | |
| | 都立神代植物公園・植物多様性センター | | 武蔵野商店 | |
| | 調布市野草園 | | 武蔵野クリーンセンター | |
| | 都立井の頭恩賜公園 | | ノートカフェ(東京学芸大学) | |
| | 都立武蔵野中央公園 | | 武蔵野プレイス(武蔵野市図書館) | |
| | 都立小金井公園 | | | |
| 博物館・美術館 | 多摩六都科学館 | スポーツ施設 | 武蔵野総合体育館 | |
| | がすミュージアム | | 小金井市総合体育館 | |
| | 鈴木遺跡資料館(小平市) | | SUBARU総合スポーツプラザ | |
| | 平櫛田中彫刻美術館 | イベント・学園祭 | 井の頭恩賜公園100周年・西園特設ポイント | |
| | 府中市美術館 | | | はげのおいしい朝市(武蔵野公園・くじら山) |
| | 江戸東京たてもの園 | | | 森の地図フェスタ(野川公園) |
| | 京王フローラルガーデンアンジェ | | | キスゲフェスティバル(浅間山公園) |
| | 星と森と絵本の家(国立天文台) | | | 野川公園・秋の日まつり |
| | 武蔵野ふるさと歴史館 | | | ぶんぶんウオーク(武蔵国分寺公園) |
| | 井の頭自然文化園 | | | 日本獣医生命科学大学 |
| | 小平ふるさと村 | | | 東京外国語大学 |
| | 三鷹の森ジブリ美術館 | | | |
| | 小平市下水道館 | | | レンタサイクル |
| | 三鷹市水車経営農家 | 東小金井サイクルポート | | |
| | 府中市郷土の森博物館 | 小金井公園・特設レンタサイクルポート | | |
| | 調布市博物館 | 野川公園・特設レンタサイクルポート | | |
| | 小金井市文化財センター(浴恩館公園) | 武蔵野公園・特設レンタサイクルポート | | |
| | 武蔵国分寺跡資料館 | 寺社 | 深大寺 | |
| | ふるさと府中歴史館 | | 布多天神社 | |
| | 競馬博物館(JRA東京競馬場) | | 観光案内所 | 深大寺観光案内所 |
| | 小金井市立はげの森美術館 | 武蔵野市観光機構 | | |
| | 吉祥寺美術館 | 調布市観光案内所 | | |
| | 三鷹市山本有三記念館 | みたか観光案内所 | | |
| | 農工大科学博物館 | 稲城発信基地ベアテラス | | |
| | 武蔵府中熊野神社古墳 | | | |
| | 国立天文台(三鷹) | | | |
| | 湯浅八郎記念館(国際基督教大学) | | | |

実施する事業と実施体制

(1) これまでの取組

【森の地図スタンプラリー】 (体験型広域回遊イベント)

- ・2012 年秋 (11 月 3 日～12 月 9 日) 第 1 回森の地図スタンプラリー -紅葉編- を実施
主催：東京都公園協会／西武・武蔵野パートナーズ／武蔵野コッツウォルズ
三鷹ネットワーク大学、民学産公協働研究事業に採択 (初年度)：自治体の枠を超えた広域回遊の実証実験
- ・2013 年春 (4 月 27 日～6 月 9 日) 第 2 回森の地図スタンプラリー -花と緑とミュージアム編- を実施
- ・2013 年秋 (11 月 2 日～12 月 1 日) 第 3 回森の地図スタンプラリー -なつかしさにほっこりの秋編- を実施
三鷹ネットワーク大学、民学産公協働研究事業に採択 (二年目)：初年度の実証実験の成果をもとに、地域の店舗等との連携をテーマにした取り組みを行った



- ・2014 年春 (3 月 1 日～4 月 6 日) 第 4 回森の地図スタンプラリー -早春の武蔵野をめぐる編- を実施
※東京都地域資源発掘型実証プログラム事業「ここが東京?! 森 (しん) 発見プロジェクト」との連携：調布市・三鷹市・小金井市のエリアにおいて、レンタサイクルを活用した広域観光の実証実験を行った／自転車散歩ガイドツアーの開始／地域大学 (亜細亜大学経営学部・安田教授ゼミ) との連携開始



- ・2014 年秋 (10 月 5 日～11 月 24 日) 第 5 回森の地図スタンプラリー -Enjoy!むさしの編- を実施
※JR 東日本「駅からハイキング」-武蔵野の原風景、昔と今をたずねる-との連携：コースの監修を武蔵野コッツウォルズが行った
- ・2015 年春 (3 月 21 日～5 月 6 日) 第 6 回森の地図スタンプラリー -Enjoy!むさしの・春編- を実施
- ・2015 年秋 (10 月 10 日～11 月 29 日) 第 7 回森の地図スタンプラリー -秋の花木と歴史を訪ねる編- を実施
東京都市長会事業 (調布市／三鷹市／小金井市) 「週末は都会の森で遊ぼう!」との連携 (1 年目)：「ここが東京?! 森発見プロジェクト」を継承した広域回遊観光の取り組み
- ・2016 年春 (4 月 9 日～5 月 29 日) 第 8 回森の地図スタンプラリー -新緑の武蔵野をめぐる編- を実施

- ・2016年秋（10月8日～11月27日）第9回森の地図スタンプラリー -あちこち発見!!むさしの編- を実施
 東京都市長会事業（調布市／三鷹市／小金井市）「週末は都会の森で遊ぼう！」との連携（2年目）
 東京都市長会事業（府中市／国分寺市）「タイムトリップ in 国分寺・府中」との連携：古代の「武蔵国（むさしのくに）でつながっている国分寺市と府中市の依頼により、武蔵野コッツウォルズがイベントを企画、JR中央線でレンタサイクル事業を展開する「Suicle(スイクル)」と協同で運営、実施した



- ・2017年春（4月8日～5月28日）第10回森の地図スタンプラリー -心とカラダが喜ぶこと始めよう編- を実施
 祝・井の頭恩賜公園開園100周年企画として、武蔵野市観光機構が主催する「なぞ解きスタンプラリー」と連携した。また、井の頭恩賜公園での100周年事業の開催期間に会場の受付にスペシャルスタンプを設置した
- ・2017年秋（10月7日～11月26日）第11回森の地図スタンプラリー -水と緑の回廊編- を実施
 東京都市長会事業（調布市／三鷹市／小金井市）「週末は都会の森で遊ぼう！」との連携（3年目）
 2014年から行ってきた小冊子「名花名木探訪」の総集編が完成。都立神代植物公園とその周辺地域を一体化した観光的な魅力づくりに武蔵野コッツウォルズが編集協力（発行：都立神代植物公園）。
- ・2018年春（3月24日～5月13日）第12回森の地図スタンプラリー -心とカラダが喜ぶこと始めよう編 part2- を実施

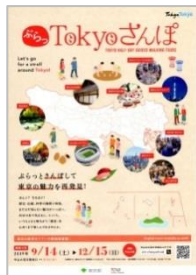
東京都地域資源発掘型実証プログラム事業「武蔵野の森発サステナブル観光」事業との連携（1年目）：2020東京オリンピック・パラリンピックの開催地となる武蔵野エリアの6市（調布市・府中市・三鷹市・小金井市・武蔵野市・稲城市）が連携して、スポーツ×観光をテーマとした広域回遊の取組みを武蔵野コッツウォルズが企画・提案、東京都の事業として実施された（JTBが運営・実施）



- ・2018年秋（10月6日～11月25日）第13回森の地図スタンプラリー -ムサシノ・今と昔を訪ねる編- を実施
- ・2019年春（3月23日～5月12日）第14回森の地図スタンプラリー -むさしの・桜と新緑をめぐる編- を実施
- ・2019年秋（10月6日～11月25日）第15回森の地図スタンプラリー -秋のムサシノ、満喫編- を実施

東京都地域資源発掘型実証プログラム事業「武蔵野の森発サステナブル観光」事業との連携（2年目）

東京観光財団事業「Tokyoさんぽ」（東京の街歩きツアー）に3ツアーが採用される



（2）今後の取組

■周遊モデルコースの策定

当該地域の構成施設を周遊するモデルコースをテーマ別（「自然」、「歴史」、「文学・アニメ」等）に策定し、共通のチケット等を伴うサービスを新たに検討、創出する。もって構成施設のさらなる利用促進を図ると同時に来訪者の利便性を高めることを意図する。また、地域を周遊するモデルコース作りはこれまでも行ってきたが、ガーデンツーリズムの構成庭園(施設)を中心に、地域の飲食店や物販の店舗等を組み込んだ内容のモデルコースを策定する。

■地域を周遊するウォーキング会やガイドツアーを実施する。

モデルコースを地域で活動するインストラクターといっしょに実施するガイドツアー等を行う。

■回遊を促進するMAPやパンフレットを作成する。

来訪者がセルフガイドツールとして活用できるよう、モデルコースをわかりやすく解説したパンフレットやMAPを制作し、頒布する。

■事業を象徴するフェスティバル的なイベントやセミナーを開催する。

むさしの・ガーデン紀行各事業の活動をPR、各協力施設の紹介、自然や環境を守る大切さを啓蒙するイベント等を年に1~2回行う。このイベントではウォーキング会やガイドツアー、マルシェなどを有料で行い、その収益を本事業の活動資金に充当する。

（3）協議会の構成員

むさしの・ガーデン紀行連絡協議会

【地域の自治体】

小金井市／国分寺市／府中市／武蔵野市

【地域の観光協会】

一般社団法人小金井市観光まちおこし協会／NPO法人みたか都市観光協会／一般社団法人武蔵野市観光機構／調布市観光協会／NPO法人府中観光協会／一般社団法人こくぶんじ観光まちづくり協会

【都立公園の指定管理者】

公益財団法人東京都公園協会（殿ヶ谷戸庭園・神代植物公園・小金井公園・武蔵野の森公園・多磨霊園）／西武・武蔵野パートナーズ（武蔵国分寺公園・浅間山公園・武蔵野公園・野川公園・玉川上水緑道）／都立井の頭恩賜公園（東京都）

【地域の活動団体】

一般社団法人武蔵野コッツウォルズ（事務局）

【構成庭園(施設)その他】

構成庭園(施設)や森の地図スタンプラリー・協力施設の中で、取り組みのテーマにより随時参加

(4) 事業の実施体制

●むさしの・ガーデン紀行実行委員会・事務局（連絡協議会内メンバー）

役 割：事業の企画、運営の実務を行う。

構成員：公益財団法人東京都公園協会／西武・武蔵野パートナーズ／
一般社団法人武蔵野コッツウォルズ

●むさしの・ガーデン紀行連絡協議会

役 割：実行委員会及び事業の方向性などを協議し、事業遂行をバックアップする。

構成員：小金井市／国分寺市／府中市／武蔵野市／小金井市観光まちおこし協会／みたか都市観光協会／武蔵野市観光機構／調布市観光協会／府中観光協会／こくぶんじ観光まちづくり協会／東京都公園協会／西武・武蔵野パートナーズ／武蔵野コッツウォルズ／構成庭園（施設）その他（随時参加）

●むさしの・ガーデン紀行構成庭園（施設）

役 割：連携した事業に協力する

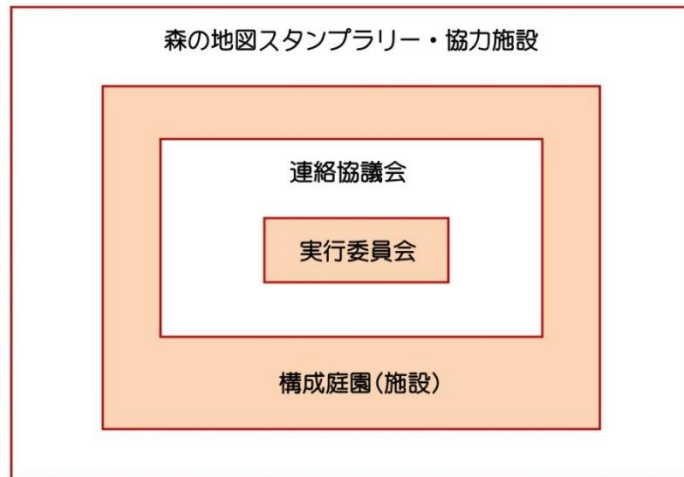
構成員：①都立武蔵国分寺公園／②都立殿ヶ谷戸庭園／③滄浪泉園（小金井市）／④小金井市立はげの森美術館・美術の森／⑤都立浅間山公園／⑥都立武蔵野公園／⑦都立野川公園・自然観察園／⑧都立武蔵野の森公園／⑨三鷹市大沢の里水車経営農家・古民家／⑩都立神代植物公園⑪深大寺／⑫調布市野草園（深大寺自然広場）／⑬調布市武者小路実篤記念館・実篤公園／⑭三鷹市山本有三記念館（有三記念公園）／⑮都立井の頭恩賜公園／⑯井の頭自然文化園／⑰都立玉川上水緑道（公園）／⑱浴恩館公園（小金井市文化財センター）／⑲都立小金井公園／⑳江戸東京たてもの園／㉑国分寺市立歴史公園／㉒都立多磨霊園

●森の地図スタンプラリー・協力施設

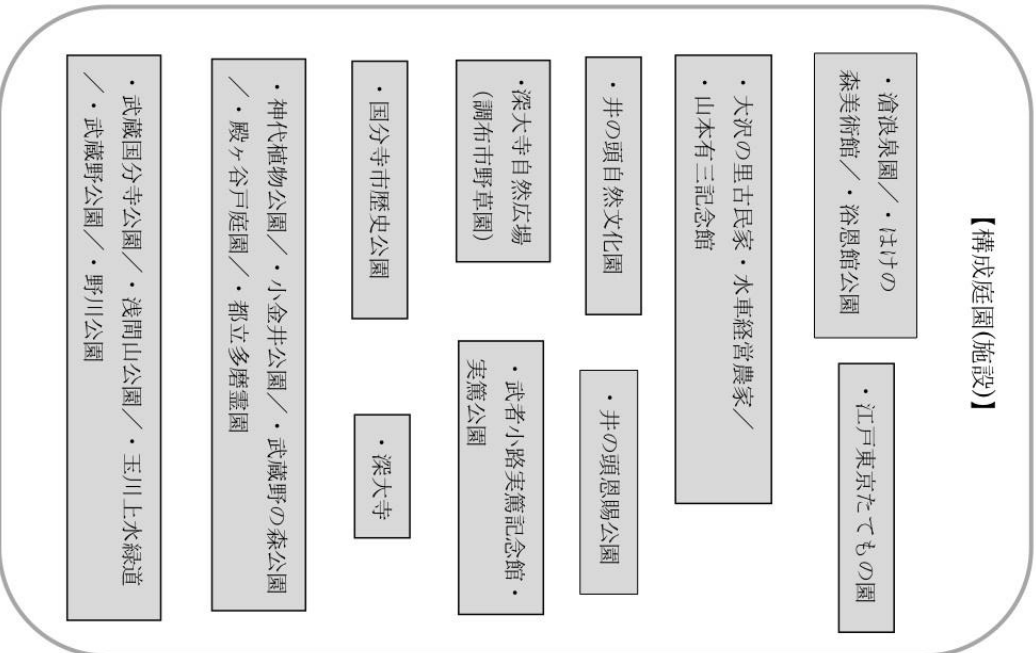
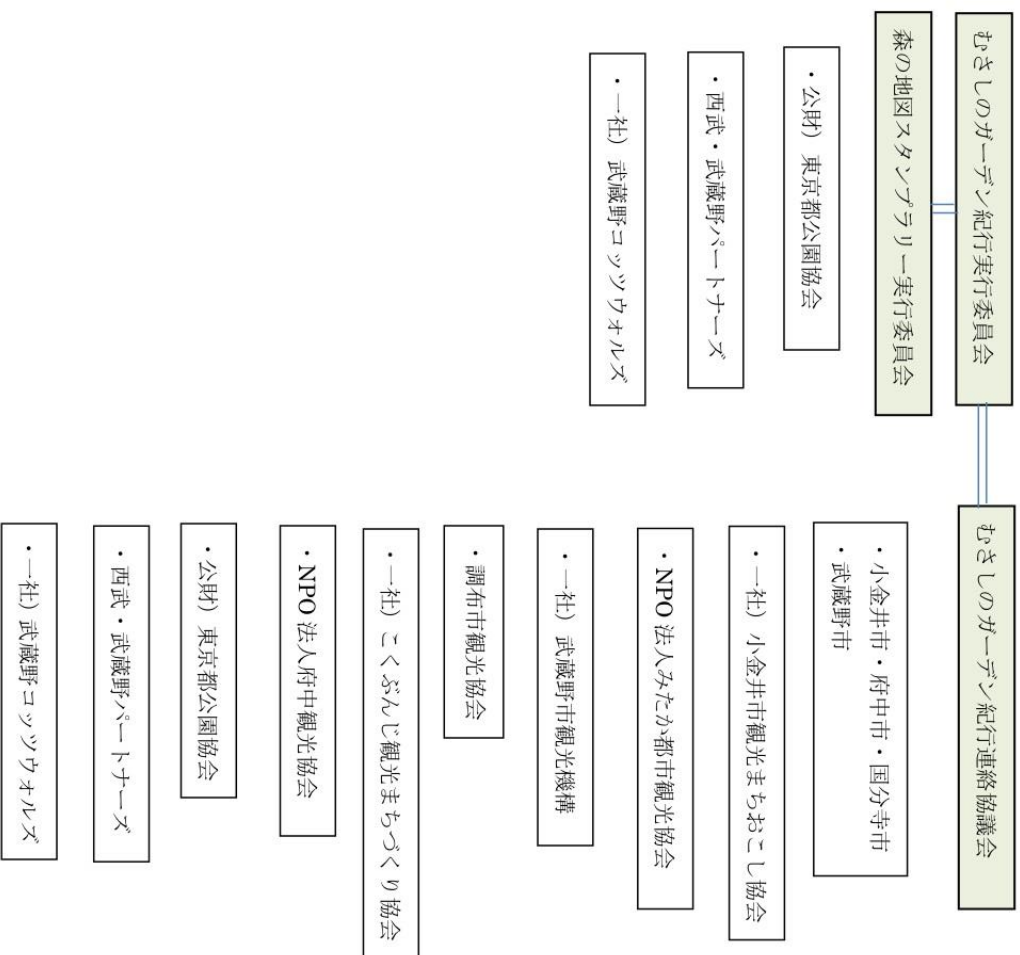
役 割：年2回（各50日間程度）のスタンプラリー開催時にラリーポイントとして協力している施設のネットワーク（設置ポイントはテーマにより毎回変わる）。今後のガーデンツーリズムの取組みとなる「モデルコース」策定などの基盤となる施設群

構成員：様式1-6参照

事業実施体制の概念図



■むさしのガーデン紀行・概念図（実施体制）



| | |
|------------|-----------|
| (5) 具体的な事業 | 様式1-8のとおり |
|------------|-----------|

(様式1-8)

具体的な事業一覧表

| | | | |
|------|---|------|--------------|
| 事業名① | 既存事業：森の地図スタンプラリー | | |
| 実施主体 | 森の地図スタンプラリー実行委員会 | 事業期間 | 2012 年度 ～ 年度 |
| 実施施設 | 構成庭園を中心とした既存のラリーポイント+新規のラリーポイント | | |
| 事業概要 | <p>●森の地図スタンプラリー</p> <p>2012（平成24）年から毎年春と秋に開催。東京・武蔵野エリアのほぼ半径5kmの緑豊かな地域を、約1か月半の間にのんびり、ゆっくりと巡るもの。ラリーポイントには、公園や庭園、博物館、カフェなど多彩なスポットが揃い、スタンプを押すことだけが目的ではなく、街や自然を探訪しながらの発見・出会い・体験を楽しむことを提案している。毎回、テーマが変わり、それに合わせたラリーポイントを16選定。他に地域で行われるイベントや大学祭などの日にち限定のスペシャルポイントを4か所設定している。参加者は、好きな所を好きな時に回る自由参加方式。自分で計画やルートを考えるのも楽しみのひとつとなっている。参加者の男女比はほぼ同じくらい。幼児からお年寄りまで幅広く参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンプラリーの台紙配布数・・・約10,000枚（実配布） ・ラリー達成応募者数（郵送と現地受付）・・・各回約500名 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>●スタンプラリーの台紙（表面）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>●アプリのイメージ</p> </div> </div> <p>★今後の取組み</p> <p>これまでの紙ベースのスタンプラリーに加え、新たなツールとしてデジタル（アプリ）を併用した事業を展開予定。若い世代への訴求、及びコロナ時代での新たな楽しみ方の提案が可能となる。また、アプリを使用することにより、参加施設の共通入園券（割引適用）、地域店舗利用時のクーポンの導入などの付加価値の提供を検討する。</p> <p>参加者の楽しみを広げると同時に、施設や地元店舗等にマネーフローをもたらす仕組みの構築を図り収益性を求めることで、持続拡大できる事業への成長をめざす。</p> | | |

| | | | |
|------|--|------|-------------------|
| 事業名② | 新規事業：周遊モデルコースの策定 | | |
| 主体 | むさしの・ガーデン紀行連絡協議会 | 事業期間 | 2020 年度 ~ 2023 年度 |
| 実施施設 | 構成庭園を中心に森の地図スタンプラリーのラリーポイント等を構成している施設 | | |
| 事業概要 | <p>当該地域の構成施設を周遊するモデルコースをテーマ別に策定し、共通のチケット等を伴うサービスを新たに検討、創出する。もって構成施設のさらなる利用促進を図ると同時に来訪者の利便性を高めることを意図する。地域を周遊するモデルコース作りはこれまでも行ってきたが、ガーデンツーリズムの構成庭園(施設)を中心に、地域の店舗等を巻き込んだ内容のモデルコースを策定する。</p> <p>以下はそのイメージ参考例。過去の取り組み(武蔵野の森発サスティナブル観光)で制作したもののだが、本事業では「ガーデンツーリズム」の趣旨に合致したものを、協議の上、作り上げて行くことになる。</p> <p>【参考例】</p>  | | |

3 ウォーキング 武蔵野文学紀行

約90分/約6km/約320kcal 国木田独歩や太宰治、山本有三ら日本を代表する文章
ゆかりのスポットを巡り、彼らが愛した武蔵野に想いを
馳せてみよう。吉祥寺では、緑い路地に小さな店が並び、
昭和の面影を伝えるハーモニカ横丁へ。

START!

武蔵境駅

- 歩 22分/1.2km 太宰の跨線橋
- 歩 20分/1.0km 国木田独歩碑
- 歩 5分/0.2km 風の散歩道
- 歩 13分/0.8km 三鷹市山本有三記念館
- 歩 12分/1.0km 井の頭自然文化園
- 歩 10分/0.8km ハーモニカ横丁
- 歩 5分/0.3km 吉祥寺駅

GOAL!

コース周辺のスポット

太宰の跨線橋 MAP 02

三鷹電車庫の上に架けられている全長約90mの梁橋で、三鷹で晩年を過ごした作家・太宰治が散歩で訪れていたお気に入りの場所。現在も近隣の人たちの散歩コースとして親しまれるほか、鉄道ファンにも人気が高い。

三鷹市山本有三記念館 MAP 02

「鴉の石」をはじめ、数々の小説を発表した作家・山本有三が暮らし、旧宅を記念館として公開。ゆかりの品や作品を展示するほか、さまざまな建築様式が混在する洋風の建物は、外観・内装ともに見ごたえがある。入館料300円（一般）。

井の頭自然文化園 MAP 03

昭和17年（1942）開園の歴史ある施設。動物園と水生植物園からなり、フシヤマキコなど日本の固有種の保育や繁殖に努めている。園内「美しい観」などを作詞した野口雨情の童謡「童心殿」も演奏されている。

ここで休み

ふらんすや MAP 01

1965年創業の地産で愛される洋菓子とビスケットの店。毎日のおやつで食べられるようにと価格を抑えた洋菓子は、贈り物にもぴったり。20種以上のメニューを揃える生菓を使ったパスタも評判。

ハーモニカ横丁 MAP 01

吉祥寺駅北口を出てすぐにあるレトロな雰囲気の商店街。ハーモニカをテーマにしたお土産品が並び、100軒近く、自然は雑草や花屋、和菓子店などが並び、昔は飲食店や居酒屋が盛況になる。

国木田独歩碑 MAP 01

三鷹駅北口の近く、武者小路実篤の墓に隣り合う。国木田独歩のレリーフが彫られている。

風の散歩道 MAP 01

三鷹駅から駅立井の頭自然文化園へ向かう途中にある。江戸時代から続く散歩道。新緑や紅葉が美しい。

はな子像 MAP 01

井の頭自然文化園で設置されていたアザラシ「はな子」の像。吉祥寺駅北口の駅前広場に立つ。

＜本事業で想定されるコンテンツ＞

【テーマ：自然紀行】

むさしのエリアは、都心からほど近い(電車で約 20 分)ところにありながら、驚くほど多くの緑があり、沢山の生きものが住んでいます。折々の草花やちいさな生き物、野鳥のさえずり、水の流れに心癒やされながらのんびりとした散策を楽しめます。

主な対象庭園(施設)：井の頭自然文化園／深大寺自然広場(調布市野草園)／神代植物公園／浅間山公園／玉川上水緑道(公園)／野川公園・自然観察園など

対象物：武蔵野の生きもの、植生／雑木林／日本古来の草花／湧水／絶滅危惧種の植物／ムサシノキスゲ／苗圃／田んぼ／谷戸の地形／多様な品種のサクラ／野鳥など



●湧水の水路



●クイーン・オブ・神代



●ムサシノキスゲ

【テーマ：歴史紀行】

太古の昔から現代にいたるまで、この地域の歴史は重層的で知れば知るほどその奥深さに魅了されます。地域のそこかしこで歴史ロマンを感じるエピソードに触れながら、昔の東京や日本の成り立ちをタイムトリップするような感覚で周遊します。

主な対象庭園(施設)：江戸東京たてもの園／殿ヶ谷戸庭園／深大寺／大沢の里水車経営農家・古民家／武蔵国分寺公園／武蔵野の森公園など

対象物：旧石器や縄文時代の遺跡／古墳(横穴式や上円下方墳)／玉川上水／神田上水／太平洋戦争の軍事基地跡／東京の家屋の変遷／国分寺崖線上の別荘／武蔵野の大型水車／古民家／国宝仏／深大寺城跡など



●深大寺



●江戸東京たてもの園



●掩体壕（武蔵野の森公園）

【テーマ：文学・アニメ紀行】

国木田独歩、太宰治、山本有三、武者小路実篤、大岡昇平、柳田国男……。なぜ、武蔵野の地は多くの文人たちに愛されてきたのでしょうか。また、世界的に人気のあるジブリ映画や国民的漫画のゲゲゲの鬼太郎が生まれた背景や風土を訪ねます。

主な対象庭園(施設)：井の頭恩賜公園／井の頭自然文化園／江戸東京たてもの園／深大寺／山本有三記念館／武者小路実篤記念館・実篤公園など

主な対象物・人：国木田独歩／大岡昇平／太宰治／三木露風／野口雨情／山本有三／武者小路実篤／松本清張／高浜虚子／柳田国男／鬼太郎（水木しげる）／ジブリ美術館(外観)などジブリ映画ゆかりの地／下村湖人／上林暁／黒井千次など



●国木田独歩文学碑



●ジブリ美術館(井の頭恩賜公園)



●山本有三記念館

【テーマ：はけ紀行】

はけには水と緑がありその恩恵とともに人々が暮らしてきました。そこは武蔵野台地の南端の景勝地でもあり、富士山や丹沢の山並みも眺望できます。崖の斜面を利用してつくられた邸宅(庭園)の一部は一般公開され、静かで贅沢な時が流れています。

主な対象施設：殿ヶ谷戸庭園／滄浪泉園／はけの森美術館／武蔵国分寺公園／大沢の里水車経営農家・古民家／武者小路実篤記念館・実篤公園／深大寺自然広場(調布市野草園)など

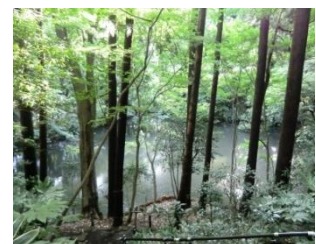
主な対象物：財閥系などの別荘跡／小説「武蔵野夫人」の舞台／野川遊歩道／谷戸の地形／お鷹の道・真姿の池湧水群／古多摩川などで形成された地形／国分寺崖線に見られるハケ（湧水）と人々の暮らし／里山の景色／開発と自然の関係



●紅葉亭（殿ヶ谷戸庭園）



●湧水の池（はけの森美術館）



●滄浪泉園

| | | | |
|------|---|------|-------------------|
| 事業名③ | 新規事業：モデルコースを回遊するツアーの実施 | | |
| 実施主体 | むさしの・ガーデン紀行連絡協議会 | 事業期間 | 2020 年度 ～ 2025 年度 |
| 実施施設 | 構成庭園を中心に森の地図スタンプラリーのラリーポイントを構成している施設 | | |
| 事業概要 | <p>■地域を周遊するウォーキング会やガイドツアーを実施する。</p> <p>テーマごとに策定したモデルコースを地域のインストラクターといっしょに実地するガイドツアー等を随時行う。江戸東京たてもの園や神代植物公園、野川公園・自然観察園、深大寺などでは現地のボランティアガイドとも連携したツアーとする。</p> <p>ガイドツアーは主に徒歩の場合が多いが、比較的広域の回遊を行う場合は、鉄道やバスも組み入れる。また、自然が豊かで景観にすぐれたこの地域は、自転車で回遊するのも快適で楽しい。来街者には、レンタサイクルが便利で、森の地図スタンプラリーでは、JR中央線の高架下で運営されているレンタサイクル「Suicle(スイクル)」と連携した取り組みを行っている。</p> | | |
| | <p>●レンタサイクル「Suicle(スイクル)」との連携</p> <p>森の地図スタンプラリー開催時の特典として、スタンプラリーに参加した方は1日のレンタル料が100円(通常は500円)になるサービスを運営会社と行ってきた。東西の鉄道は整備されているが、南北の移動に不便な地域事情をカバーする2次交通として、ガイドツアー時のみならず、レンタサイクルの活用をこれからも進めていきたい。</p> <div data-bbox="327 1523 726 1803" style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Suicleは現在、JR中央線の4駅、武蔵境・東小金井・武蔵小金井・国立の4駅で展開されている。どこで借りて、どこで返してもOK!</p> </div> <div data-bbox="391 1848 630 2016" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="750 1523 1404 2016" style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">回遊に便利！ レンタサイクルがお手軽に！！</p> <p>シェアサイクル「Suicle(スイクル)」が、1日乗り放題で100円！第12回「森の地図スタンプラリー」で参加の方のみの特典です。期間中のご利用で、下記の各ポートに用意されている専用紙に、ラリーポイントのスタンプを1か所以上押し、自転車を返却時に提出すればOK。JR中央線、武蔵境・東小金井・武蔵小金井・国立の4つのポートで貸し出し、返却ができます。新宿や八王子方面からのご参加にも、とても便利です。ご利用には、事前に一時利用プランでの会員登録(無料)が必要。登録の手続きは、「Suicle」のホームページで。http://suicle-ccs.jp/</p> <p style="text-align: center;">【Suicle(スイクル)のポート】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">●国立 ●武蔵小金井 ●東小金井 ●武蔵境</p> </div> | | |

■ガイドツアーの参考例

過去に行ってきたガイドツアーをベースに庭園間を回遊する例。交通機関やレンタサイクル、地域店舗等と連携してオリジナリティーあふれるツアーに練り上げていく。ガイドは、地域で活動するインストラクターと現地ボランティアガイドで編成する。

【はけ紀行】(例)

「ほっこり野川の旅」 所要時間:約4時間 現地全行程、地元インストラクター(自然系)のガイドが同行

| | | | | |
|------------|----------|----------|----------|--------------|
| 20分(JR中央線) | 10分(自転車) | 10分(自転車) | 10分(自転車) | 40分(徒歩で自然散策) |
| 新宿(例) | ⇒ 東小金井駅 | ⇒ 握飯屋 | ⇒ 野川遊歩道 | ⇒ 野川公園・自然観察園 |

高架下のレンタサイクル(Suicle)を借りて出発。返すのは隣りの駅です

素材にこだわる美味しいおにぎり屋さん。ランチ用のおにぎりを調達

この区間は、東京では珍しい土の道。景色を楽しみながらのんびりと自転車で走ります

湧水が流れ野鳥や野の花に親しめる公園。パークレンジャーが自然観察の楽しみ方をやさしくガイドします

| | | | | | | | |
|----------|----------------|---------|------------|----------|-----------|---------|------------|
| 10分(自転車) | 60分(滞在時間) | 5分(自転車) | 60分(滞在時間) | 10分(自転車) | 30分(滞在時間) | 5分(自転車) | 20分(JR中央線) |
| ⇒ 武蔵野公園 | ⇒ はけの森美術館・美術の森 | ⇒ 滄浪泉園 | ⇒ JR武蔵小金井駅 | ⇒ 新宿(例) | | | |

国分寺崖線(はけ)の森が見渡せる眺めの良い場所でピクニックランチ

美術の森にある隠れ家的な雰囲気のカフェ(旧中村研二画伯邸・国登録有形文化財)で一休み

はけの地形を活かした林泉庭園。東京の喧騒を忘れる時間。水琴窟の幽玄な響きも楽しめます

駅の近くに「黄金の水」と呼ばれるスポットも。地元の飲食店や茶道家にも好評の井戸水が試飲できます。レンタサイクルを返却したら駅へ



【歴史紀行】(例)

●花と寺社巡り 所要時間:約5時間 現地全行程、地元インストラクター(歴史系)のガイドが同行

| | | | | | | |
|----------|---------|-----------|------------|-----------|---------|-----------|
| 20分(京王線) | 10分(徒歩) | 15分(滞在時間) | 20分(徒歩) | 15分(滞在時間) | 15分(徒歩) | 75分(滞在時間) |
| 渋谷(例) | ⇒ 調布駅 | ⇒ 布多天神社 | ⇒ 深大にぎわいの里 | ⇒ 深大寺 | | |

天神通りを歩く。水木しげるの漫画「ゲゲゲの鬼太郎」に登場する妖怪たちや鬼太郎のモニュメントが並ぶ商店街です

古木に囲まれた多摩地域有数の古社。境内では定期的に骨董市などの市が開催されている

ミニ築地的な市場。地元、調布産の採れたて野菜も販売。自由に飲める井戸水も

関東屈指の古刹。調布市ボランティアガイドによる歴史解説散歩の後には門前茶屋の名物「深大寺そば」で昼食

| | | | | | | |
|----------|-----------|------------|-----------|-----------|---------|-------------|
| 5分(徒歩) | 60分(滞在時間) | 15分(小田急バス) | 10分(散歩) | 10分(滞在時間) | 30分(散歩) | 20分(京王井の頭線) |
| ⇒ 神代植物公園 | ⇒ 井の頭恩賜公園 | ⇒ 井の頭弁財天 | ⇒ 京王線吉祥寺駅 | ⇒ 渋谷(例) | | |

都内最大規模の植物公園。花の回廊の散策を楽しんだら、ばらのコーヒーで一服です

吉祥寺の街にも近い人々の憩いの場。西園には三鷹の森ジブリ美術館がある

江戸時代から行楽地としても人気が高かった井の頭弁財天。井の頭池の畔、真っ赤な建物が目を惹きます

時間に余裕のある時は、駅北口近くの「ハモニカ横丁」に立ち寄るのも楽しい



| | | | |
|------|--|------|-------------------|
| 事業名④ | 新規事業：MAP やパンフレットの制作 | | |
| 実施主体 | むさしの・ガーデン紀行連絡協議会 | 事業期間 | 2021 年度 ～ 2025 年度 |
| 実施施設 | 構成庭園を中心に森の地図スタンプラリーのラリーポイントを構成している施設 | | |
| 事業概要 | <p>■回遊を促進するMAPやパンフレットを作成する。</p> <p>モデルコースをわかりやすく解説したパンフレットやMAPを制作し、頒布する。パンフレットには、散策時に訪問できる飲食店やカフェなどの情報も掲載し、利用促進に資するクーポンの導入も検討する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div> <p style="text-align: center;">●これまでの作成例</p> | | |
| 事業名⑤ | 新規事業：セミナーやイベントの実施 | | |
| 実施主体 | むさしの・ガーデン紀行連絡協議会 | 事業期間 | 2021 年度 ～ 2025 年度 |
| 実施施設 | 構成庭園を中心に森の地図スタンプラリーのラリーポイントを構成している施設 | | |
| 事業概要 | <p>■事業を象徴するフェスティバル的なイベントを開催</p> <p>むさしの・ガーデン紀行や森の地図スタンプラリーの活動をPRしたり、自然や環境を守る大切さを啓蒙するイベントを年に1～2回行う。このイベントではウォーキング会やガイドツアー、マルシェなどを有料で行い、その収益を本事業の活動資金に充当し、自立した事業としていきたい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">  <div data-bbox="1069 1803 1380 2016" style="background-color: #fff9c4; padding: 5px;"> <p>昨年行われた「森の地図フェスタ」の様子。ガーデンツーリズム制度への登録で、一層の充実を図りたい。</p> </div> </div> | | |